

神戸観光局マーケティング情報 マンスリーレポート (2024年9月号)

2024年9月24日



1. 今月のトピックス

- ・2024.4～6月（国内）旅行・観光消費動向調査（速報値） 全国 国内 [P.2～4](#)
- ・観光庁予算 2025年度概算要求の概要 全国 国内 [P.5～9](#)
- ・神戸観光局SNS情報 神戸 国内 [P.10～11](#)

2. 市内宿泊の動向

- ・国内OTAデータ モニタリング速報 神戸 国内 [P.12～16](#)

3. 市内宿泊の動向②

- ・延べ宿泊者数の推移（全国、兵庫県、神戸市）[推計値] 神戸 全国 関西 国内 外国人 [P.17～22](#)
- ・市内ホテル平均稼働率 神戸 [P.23](#)

4. 全国のインバウンドに関する情報

- ・2024年月別訪日外客数 及び 各国・地域別の状況 全国 外国人 [P.24～26](#)

5. 交通機関に関する情報

- ・関西国際空港・神戸空港の利用状況 関西 [P.28](#)
- ・関西国際空港 国際線入国状況 関西 外国人 [P.29](#)
- ・旅客ターミナル クルーズ船寄港実績 神戸 [P.30～31](#)
- ・【クルーズ船】10月の入港予定情報 神戸 [P.32](#)

6. 神戸市内観光に関する情報 ～神戸観光局オリジナルデータ～

- ・市内観光案(国内)観光客案内件数、(訪日)国籍別対応状況、最新対応概況 神戸 国内 外国人 [P.34～36](#)
- ・主要市内観光施設来場者数 神戸 [P.37](#)
- ・神戸市内大型施設の主な催事情報（10～12月） 神戸 [P.38～40](#)

- 参考資料集 [P.41～](#)

※観光統計情報については、統計の種類によって集計結果が配信されるタイミングに差が生じます。
本レポートではできる限りタイムリーな配信に努めてまいります。内容によって取扱い月が異なります。



今月のトピックス①

2024.4～6月 （国内）旅行・観光消費動向調査
（速報値）

2024.4～6 旅行・観光消費動向調査（速報値）

- ・ 日本人の国内旅行消費額は、6兆4,518億円。 **2019年（コロナ前）比107.6%、2023年比114.9%**
- ・ 国内旅行消費額のうち、約8割が宿泊旅行の消費額。
- ・ 宿泊旅行が5兆1,137億円。（2019年（コロナ前）比112.3%、2023年比115.6%）
- ・ 日帰り旅行が1兆3,381億円。（2019年（コロナ前）比92.8%、2023年比112.6%）

【図表1】日本人国内旅行消費額の推移



	4～6月期	消費額総計	うち宿泊	うち日帰り
2019		5兆9,947億円	4兆5,534億円	1兆4,413億円
2023		5兆6,138億円	4兆4,250億円	1兆1,888億円
2024		6兆4,518億円	5兆1,137億円	1兆3,381億円
(2019年比)		107.6%	112.3%	92.8%
(2023年比)		114.9%	115.6%	112.6%

【図表5】月別日本人国内延べ旅行者数

単位: 万人

国内旅行全体	4月			5月			6月		
	4月	5月	6月	4月	5月	6月	4月	5月	6月
2019年4-6月期	4,683	6,790	4,939	2,336	3,556	2,472	2,347	3,234	2,467
2022年4-6月期	3,165	4,738	3,714	1,662	2,530	1,958	1,503	2,208	1,757
2023年4-6月期	3,847	5,280	4,161	2,011	2,923	2,288	1,836	2,357	1,874
2024年4-6月期 (速報)	4,329	5,518	4,693	2,169	2,980	2,349	2,159	2,539	2,344
2019年同月比 (2024年/2019年)	-7.6%	-18.7%	-5.0%	-7.1%	-16.2%	-5.0%	-8.0%	-21.5%	-5.0%
前年同月比 (2024年/2023年)	+12.5%	+4.5%	+12.8%	+7.9%	+1.9%	+2.7%	+17.6%	+7.7%	+25.1%

詳しくは、観光庁ホームページをご確認ください。

https://www.mlit.go.jp/kankocho/tokei_hakusyo/shohidoko.html

出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査 2024年4-6月期（速報）」報道発表資料より
<https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001759468.pdf>

ちなみに…インバウンドの消費額
 (2024.4～6月期)：2兆1,370億円。
 国内旅行は旅行前支出も含まれるため
 消費額は膨らみやすいが、消費額だけ
 ではインバウンドの約3.0倍となる。
 国内インバウンドを合わせた4～6月総
 額は8兆5,888億円。国内はその約4分
 の3を占める。

2024.4～6月（国内）旅行・観光消費動向調査（速報値） ②

全国 国内



- ・ **1人1回あたり旅行支出は、宿泊：68,202円**（2019年比：125.3%、2023年比111.3%）
日帰り：19,003円（2019年比：106.1%、2023年比97.0%）
- ・ 内訳を見ると、日帰りでは交通費の割合が最も大きく、全体の3分の1を占める。
- ・ 宿泊では、交通費と宿泊費で全体の半分を占める。

日帰り旅行 1人1回あたり消費額（内訳）



4～6月期	宿泊	日帰り
2019	54,436円	17,910円
2023	61,274円	19,596円
2024	68,202円	19,003円
(2019年比)	125.3%	106.1%
(2023年比)	111.3%	97.0%

日帰り単価の減少要因（前年比）
 ・参加費／交通費／飲食費は支出額増
 ・旅行前後支出／買物代
 ／娯楽等サービス費・その他が支出額減

宿泊旅行 1人1回あたり消費額（内訳）



4～6月期	全体	観光・レクリエーション	出張・業務
2019	2.26泊	1.73泊	2.24泊
2023	2.06泊	1.60泊	2.55泊
2024	2.07泊	1.63泊	2.07泊

出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査 2024年4-6月期（速報）」より
 平均泊数は、各年統計資料の第1表、
 消費額内訳は2024年4月～6月統計資料の第11表より

今月のトピックス②

観光庁予算 2025年度概算要求の概要

2025年度 概算要求発表

・8月27日 観光庁が2025年度予算の概算要求をまとめた。基本の予算概算要求額は、昨年度の1.5倍となった。
☞ 概算要求の内容を見て、今後観光庁が募集するであろう補助金や、力を入れていく事業を先読み！

2025年度 概算要求総括表

予算概算要求総括表

(単位:百万円)

	令和7年度 要求額 (A)	前年度 予算額 (B)	対前年度 倍率 (A/B)
(1) 持続可能な観光地域づくり	6,696	2,759	2.43
地域における受入環境整備促進事業	1,440	1,240	1.16
地方誘客促進に向けたインバウンド安全・安心対策推進事業	100	30	3.33
観光地・観光産業における人材不足対策事業	300	100	3.00
全国の観光地・観光産業における観光DX推進事業	550	450	1.22
持続可能な観光推進モデル事業	150	100	1.50
観光産業再生促進事業	300	-	新規
通訳ガイド制度の充実・強化	77	67	1.14
健全な民泊サービスの普及	107	100	1.08
観光統計の整備	673	673	1.00
地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化 (注1)	3,000	-	-
(2) 地方を中心としたインバウンド誘客の戦略的取組	6,347	6,033	1.05
地方部での滞在促進のための地域周遊観光促進事業	563	563	1.00
戦略的な訪日プロモーションの実施	5,500	5,242	1.05
MICE誘致の促進	179	208	0.86
海外教育旅行等の若者の国際交流促進	55	20	2.75
地方部における新消費税免税店モデル構築等事業	50	-	新規
(3) 国内交流拡大	1,150	669	1.72
新たな交流市場・観光資源の創出事業	650	615	1.06
観光地・観光産業におけるユニバーサルツーリズムの創出事業	500	54	9.26
(4) その他(経常事務費等)	803	565	1.42
合 計	14,997	10,025	1.50

(注1) 令和4年度第2次補正予算において措置した国庫債務負担行為の歳出化予算を計上。
※ 本表における計数は、端数処理の関係で、合計した額と一致しない場合がある。
※ 本表における計数は、政府情報システムに係る経費(デジタル庁一括計上分)を含む。

東日本大震災からの復興(復興枠)

(単位:百万円)

	令和7年度 要求額 (A)	前年度 予算額 (B)	対前年度 倍率 (A/B)
福島県における観光関連復興支援事業	500	500	1.00
ブルーツーリズム推進支援事業	266	266	1.00
合 計	765	765	1.00

国際観光旅客税を活用したより高次元な観光施策の展開

(単位:百万円)

	令和7年度 要求額 (A)	前年度 予算額 (B)	対前年度 倍率 (A/B)
国際観光旅客税を活用したより高次元な観光施策の展開	47,000	40,293	1.17

※ 前年度予算額においては、上記のほか、宮内庁計上の三の丸尚蔵館の整備20億円及び皇居東御苑大手休憩所(仮称)の整備17億円についても、国際観光旅客税財源を充当。

出典：観光庁「令和7年度予算概算要求の概要」より

NEXT……

■特に予算が増額されている事業や
新規事業などを一部ご紹介☞

詳しい内容は、観光庁「令和7年度予算概算要求の概要」をご覧ください。
<https://www.mlit.go.jp/page/content/001760290.pdf>

■ 持続可能な観光地域づくり



- ・事業者への支援メニューがより充実。人材不足対策に前年比3倍予算を投入。また、新規事業として、債務を抱えつつも再生能力が見込まれる宿泊事業者に対し、事業再生をサポートする「観光産業再生促進事業」が新設。
 - ・その他、インバウンドの安全・安心な旅行をサポートする取組が前年比3倍の規模となるなど、観光施設や地域全体の受入環境整備に引き続き取り組んでいる。
- ※なお、「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化」：300億円は、令和4年度第2次補正予算措置の国庫債務負担分であり、新規募集ではない。

観光地・観光産業における人材不足対策事業 令和7年度要求額 300百万円
(前年度予算額 100百万円)

事業目的・背景・課題

- 宿泊業ではインバウンドをはじめとする観光需要の急速な回復に伴い人手不足が顕著となっている。今後更なる増加が見込まれる観光需要を着実に取り込み、地方への旅行者数・旅行消費額等の増加といったインバウンドによる経済効果を最大限にするためにも、受け皿となる宿泊業の人手不足の解消が急務。
- 人手不足の解消に向け、採用活動等の足下の対策、機械化・DX化推進のための設備投資支援等の短期的な対策、外国人材の活用、経営の高度化等の中長期的な対策など、あらゆるフェーズの人手不足対策を総合的に実施。

事業内容

- ①人材確保の促進
大型の合同企業説明会等における宿泊業の魅力発信イベントの実施等、事業者の採用活動を全面的に促進
- ②人材活用の高度化に向けた設備投資支援
人手をかけるべき業務に人材を集中投下し、サービス水準向上・賃上げを実現するため、スマートチェックイン・アウト、配膳・清掃等ロボット、チャットボット、予約等管理システム（PMS）等の設備投資を支援
- ③外国人材の確保
特定技能試験の受験者を増やすためのジョブフェア等のPR活動、試験合格者の雇用のためのマッチングイベントの実施、観光地における外国語対応人材の確保等
- ④経営の高度化
「観光人材育成ガイドライン」に準拠した教育プログラムの充実等、経営の高度化を促進

事業イメージ

- 設備投資支援
 スマートチェックイン・アウト
- 外国人材の確保
 配膳ロボット チャットボット

事業スキーム

- ・事業形態：①③④直轄事業 ②間接補助事業（上限500万円、補助率1/2）
- ・補助対象・請負先：①③④民間事業者 ②国→民間事業者（事務局）→宿泊事業者
- ・事業期間：①②④令和5年度～ ③令和元年度～

お問い合わせ先：観光庁 観光産業課 電話：03-5253-8367

観光産業再生促進事業 令和7年度要求額 300百万円

事業目的・背景・課題

- 観光産業の中核である宿泊業は、これまで地域における観光需要の受け皿としての役割を果たしてきたところである。
- しかしながら、宿泊業においては、コロナ禍で増加した債務の返済に行き詰まることで、本来その宿泊施設が有する魅力を十分に発揮することができず、今後、倒産・廃業に至る宿泊事業者が増加するおそれがある。
- そこで、観光庁として、債務を抱えつつも再生能力があると見込まれる宿泊事業者に対し、宿泊業における経営能力を強化する観点から事業再生の後押しを図ることとする。

事業内容

- 再生ファンド・中小企業活性化協議会など既存の再生モデルにより宿泊事業者の事業再生を図る場合において、宿泊事業自体の運営面における改善を図るための取組を促進する。
 - ・具体例：宿泊業専門のコンサル事業者の派遣を通じた運営プランの充実化
宿泊業の運営に精通した事業者とのマッチング 等

事業スキーム

- ・事業形態：直轄事業
- ・請負先：民間事業者
- ・事業期間：令和7年度～

事業イメージ

お問い合わせ先：観光庁 観光産業課 電話：03-5253-8330

観光庁「令和7年度予算概算要求の概要」をご覧ください。
<https://www.mlit.go.jp/page/content/001760290.pdf>

■ 持続可能な観光地域づくり



- ・事業者への支援メニューがより充実。人材不足対策に前年比3倍予算を投入。また、新規事業として、債務を抱えつつも再生能力が見込まれる宿泊事業者に対し、事業再生をサポートする「観光産業再生促進事業」が新設。
- ・その他、インバウンドの安全・安心な旅行をサポートする取組が前年比3倍の規模となるなど、観光施設や地域全体の受入環境整備に引き続き取り組んでいる。

※なお、「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化」：300億円は、令和4年度第2次補正予算措置の国庫債務負担分であり、新規募集ではない。

地方誘客促進に向けたインバウンド安全・安心対策推進事業

令和7年度要求額 100百万円
(前年度予算額 30百万円)



事業目的・背景・課題

- 我が国の災害は激甚化・頻発化の傾向であり、訪日外国人旅行者が災害に遭うケースも想定されるとともに、医療機関を受診するケースも増加することが想定される。
- 更なる地方誘客促進に向けて、訪日外国人旅行者が日本各地を安全・安心に訪れることができる旅行環境整備が必要であり、地域における観光客を含めた危機管理体制の検討・構築、多言語での正確な情報発信、観光施設等における非常時対応機能強化、医療機関におけるキャッシュレス決済等の整備等を推進する。



事業内容

- ①地域における観光危機管理計画の策定に向けたマニュアル整備
 - ・各地域における訪日外国人旅行者を含めた観光客に対する災害時の対応方針等の計画策定を促進するため、地理的特性や災害パターン別に地域に求められる対応等を調査し、マニュアルを作成。
- ②地域における観光危機管理計画の策定補助
 - ・各地域における訪日外国人旅行者を含めた観光客に対する災害時の対応方針等の計画策定を支援。
- ③観光施設等の避難所機能・多言語対応機能の強化
 - ・訪日外国人旅行者の一次的な安全・安心確保のため、観光施設等におけるトイレ洋式化や非常用電源装置の整備、多言語機能の強化等の環境整備を支援。
- ④医療機関の訪日外国人患者受入機能の強化
 - ・訪日外国人旅行者が医療機関を受診する場合の利便性向上に向けて、キャッシュレス決済の導入、医療機関内の多言語化等の環境整備を支援。

事業イメージ



事業スキーム

- ・事業形態①：直轄事業 請負先：民間事業者 ・事業形態②：直接補助事業（補助率1/2、上限500万円） 補助対象：地方公共団体
- ・事業形態③：直接補助事業（補助率1/2） 補助対象：民間事業者、地方公共団体、DMO等
- ・事業形態④：直接補助事業（補助率1/2） 補助対象：民間事業者等
- ・事業期間：①令和7年度～、②令和5年度～、③④平成28年度～

お問い合わせ先：観光庁 参事官(外客受入) 電話：03-6253-8972

■ 地方を中心としたインバウンド誘客の戦略的取組



- ・2030年訪日外国人旅行者／消費額の目標6,000万人／15兆円を目指すため、戦略的な訪日プロモーションとして、JNTOへの交付金として55億円が計上。（本柱の86%を占める予算規模の交付金）
- ・制度変更が見込まれる「免税制度」について、インバウンドの「買い物による消費」をより促進していくために、地方部の免税店での課題抽出・モデル実証事業が新規で計画されている。
- ・その他、MICE誘致の促進や、地方部での滞在促進のための地域周遊観光促進などに取り組む。

戦略的な訪日プロモーションの実施

令和7年度要求額 5,500百万円
(前年度予算額 5,242百万円) 観光庁

事業目的・背景・課題

- 個人旅行再開等の水際措置の緩和以降、インバウンドは回復傾向にあるが、「明日の日本を支える観光ビジョン」（H28.3策定）で掲げる2030年までに訪日外国人旅行者数6,000万人の目標達成を見据え、更なる誘客促進が必要。
- 観光立国推進基本計画（R5.3閣議決定）に定める目標の達成、2025年大阪・関西万博開催を契機とした日本各地の魅力発信に向けて、持続可能な観光、消費額拡大、地方誘客促進をキーワードとし、国・地域ごとのニーズを踏まえた効果的なプロモーションに取り組む必要がある。

事業内容

- 日本政府観光局（JNTO）を通じて、コロナ禍を経た旅行者の意識変化を踏まえながら、国・地域別の戦略等に基づき、ウェブサイト・SNS、旅行会社やインフルエンサー等を活用し、戦略的な訪日プロモーションを実施する。

【令和7年度におけるプロモーションの取組】

2025年に開催を控える大阪・関西万博を契機とし、日本各地への誘客を促進するプロモーションなど、下記の取組を実施。

①市場別プロモーション

- 例) 海外事務所を拠点としたきめ細かなプロモーション
アジア市場のリピーター層向けの大規模キャンペーン等

②テーマ別プロモーション

- 例) 持続可能な観光の推進、高付加価値旅行者向けプロモーション等

③インバウンド誘客に向けた環境・基盤整備

- 例) 航空会社との共同広告を通じた地方路線の復便・増便等の促進
デジタルマーケティングを活用したプロモーションの高度化等

事業スキーム

事業形態：交付金 交付先：JNTO

お問い合わせ先：観光庁 国際観光課 電話：03-5253-8324

事業イメージ



ウェブサイト・SNS等による
情報発信



現地消費者向けの
旅行博出展・イベント開催



旅行会社への招請による
ツアー造成支援



航空会社との共同広告による
復便・増便促進

地方部における新消費税免税店モデル構築等事業

令和7年度要求額 50百万円 観光庁

事業目的・背景・課題

- 2030年訪日外国人旅行者/消費額の目標6,000万人/15兆円を目指す上で、インバウンド宿泊数が三大都市圏へ偏在している現状を踏まえると、地方への誘客と観光産業の高付加価値化による消費拡大を促進することが重要。
- 特に、「買い物による消費」は、訪日外国人旅行者の消費額の約1/4を占め、今後の成長余地も見込まれることもあり、これまで外国人旅行者向け免税制度での後押しが行われてきた。
- 当該免税制度は、令和7年度税制改正において制度変更の詳細について結論を得ることとされているところ、制度変更後の円滑な運用を通じた更なる消費拡大を目指すためには、小売店が免税店化する上での新たな障壁が生じることのないよう、あらかじめ課題を整理し、解決策を検討する必要がある。
- 具体的には、制度変更により生じうる課題等を踏まえ、地方誘客・高付加価値化の観点から、地方部で工芸品・特産品等の高単価商品を販売している小売店を中心に免税店化のモデル実証事業を行い、得られた知見を全国の小売店等に周知することで、制度の円滑な移行と共に、制度の利用拡大を通じた、地方部での消費拡大を促進する。

事業内容、事業イメージ

- 地方部で工芸品・特産品等の高単価商品を販売している小売店が免税店化する上での課題を収集した上で、当該課題の解決に資するDMO等が主体となり、免税店の普及支援をモデル的に実施し、他地域への事例展開へも活かす。

1. 課題の把握

新免税店化での懸念・課題例を収集

- 例) 免税店としての販売促進施策が不明
免税店であることのPR方法が不明
新制度への知識が不足
等

2. 実証実験

特定エリアにおいて、DMO等が主体となり、制度普及や円滑な運用に資する取組をモデル的に支援

課題の規模が各店に対応するには大きいため、DMOが各店共通課題に対応/支援

3. 他地域に展開

様々なチャネルを駆使した事例展開

事業スキーム

- ・事業形態：直轄事業 ・請負先：民間事業者 ・事業期間：令和7年度～

お問い合わせ先：観光庁 観光戦略課 電話：03-5253-8322

今月のトピックス③

神戸観光局SNS情報



昨年(2022年)の10月にエンゲージメントの高かった投稿を紹介。

観光スポット編

10月
秋を感じて
満喫スポット!

↑ いいね数 順位

BEST 1



2023/10/25

BEST 2



2023/10/11

BEST 3



2023/10/4

BEST 4



2023/10/18

2023年10月

2023年10月はシーズンの秋の自然や芸術などを紹介するコンテンツが好評。ハロウィンやスポーツなど「〇〇の秋」を感じるコンテンツにいいねが集中。
1位⇒「六甲山で秋ピクニック」が**1位**。六甲山の広大な自然が楽しめる「神戸市立森林植物園」でのんびりしたピクニックを紹介。11月に始まる紅葉ライトアップも告知している。

2位⇒「AQUARIUM × ART átoa(アトア)」の紹介動画。アクアリウムとアートが融合した新感覚の都市型水族館 アトア。音楽や光、香りと、生き物たちが織りなす神秘的な空間で、アートの世界に浸ることができることを動画で訴求。

3位⇒「横尾忠則現代美術館」で開催されている「Yokoo in Wonderland—横尾忠則の不思議の国」を動画で紹介。

4位⇒神戸市北区にあるアスレチック・アドベンチャー施設「天空×大冒険 ソラカケル」を紹介。地上7mの大冒険を楽しめることをPR。

その他の投稿



神戸で楽しむ「スポーツ3選」



神戸で楽しむ「ハロウィン3選」



地元で人気「豚まん3選」



洋館で楽しむ「贅沢ランチ2選」

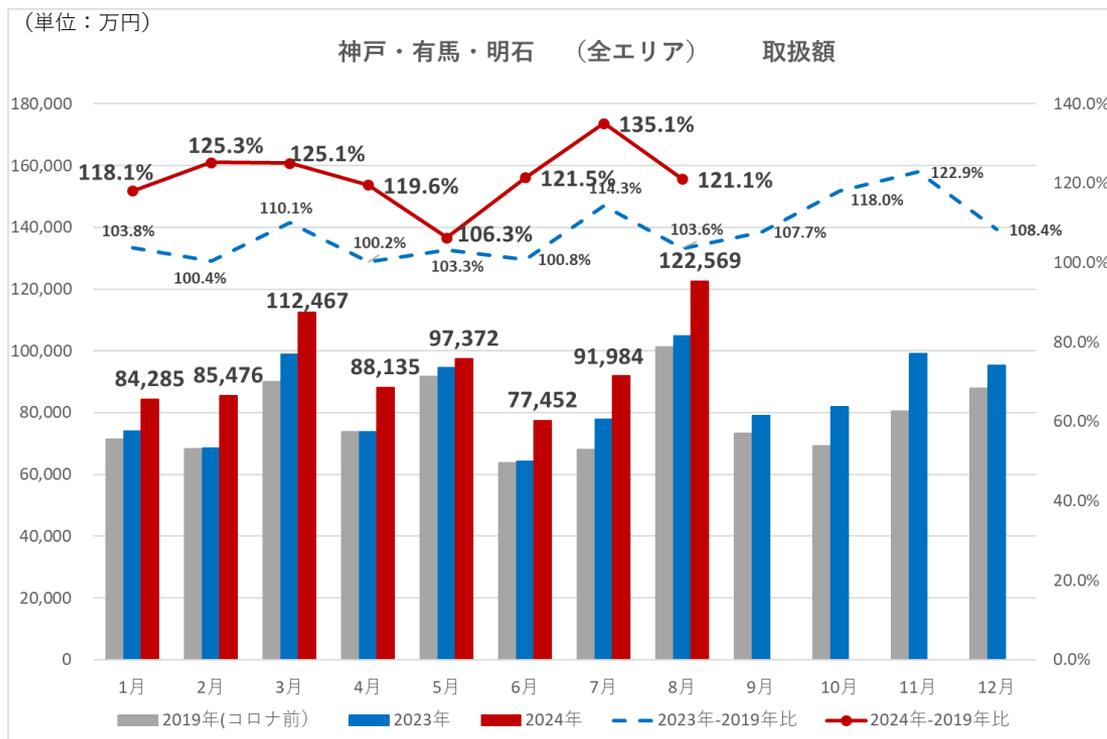
市内宿泊の動向

国内OTAデータ モニタリング速報

8月 全市（明石含む）の取扱額：2019年同月比 121.1%、人泊数：105.1%、単価：115.2%。

- ▶ エリア別にみると有馬では、2019年比で客単価が高い状態が続く。なお、本国内OTA上では、**有馬の客室平均単価は、11月には箱根を超えて温泉エリアで日本一**。その影響もあり、有馬にあっては、単価の上昇から国内旅行者よりもインバウンドに選ばれやすくなってきている傾向がみられる。市街地はGWに苦戦していた分、6月以降好調。人泊数・単価ともにコロナ前を上回った。
- ▶ 有馬の人泊数は前年比を下回っており、お盆の地震、8月末の台風、酷暑の影響と思われる。
- ▶ 国内OTAのデータということもあり、全市データは、市街地のいわゆるビジネス利用者／長期休暇にはファミリー層の影響が出やすい。

【取扱額 実績】



【エリア別・2019年同月比】

	6月	7月	8月
全市			
取扱額	121.5% (100.8%)	135.1% (114.3%)	121.1% (103.6%)
人泊数	107.2% (89.6%)	116.4% (102.0%)	105.1% (96.4%)
単価	113.3% (112.5%)	116.1% (112.1%)	115.2% (107.5%)
市街地			
取扱額	121.5% (100.8%)	134.3% (115.2%)	123.5% (106.7%)
人泊数	108.0% (92.4%)	116.6% (105.6%)	105.1% (99.7%)
単価	112.4% (109.0%)	115.2% (109.1%)	117.5% (107.1%)
有馬			
取扱額	109.5% (96.9%)	120.8% (107.5%)	106.6% (92.5%)
人泊数	89.8% (81.2%)	103.3% (88.9%)	90.7% (81.8%)
単価	122.0% (119.3%)	116.9% (121.0%)	117.6% (113.1%)

黒太字は2024年-2019年比

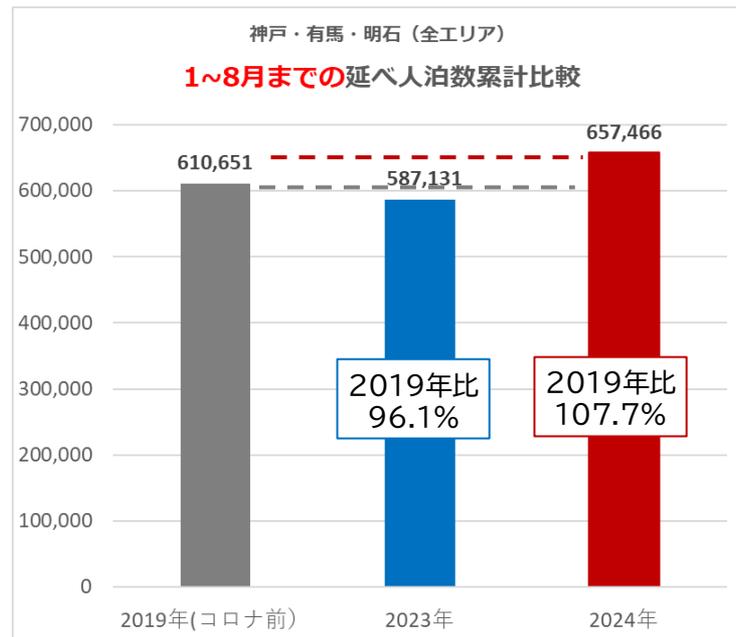
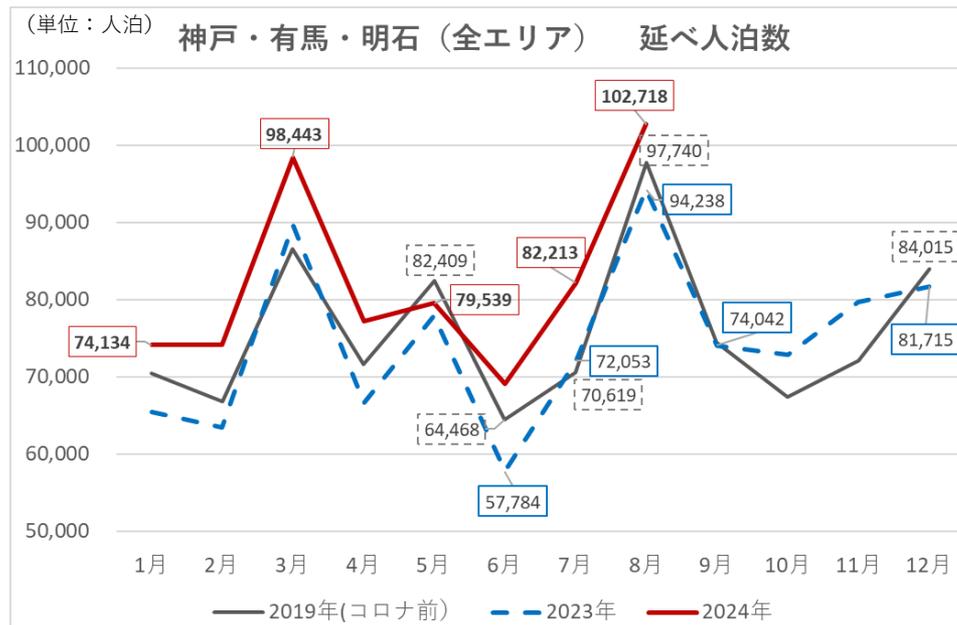
()内は同時点の前年(2023年)-2019年比

【OTAデータの特徴】

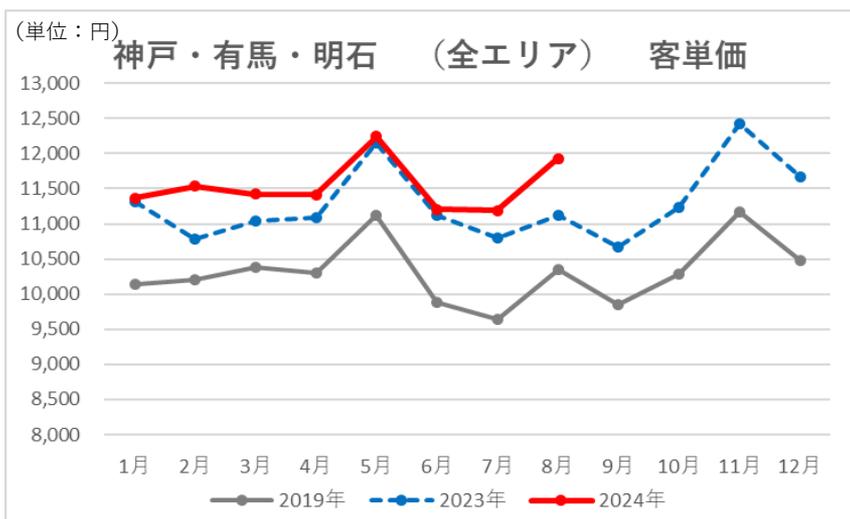
OTAとは、「Online Travel Agent」の略称。オンライン上のみで旅行商品等を販売する旅行会社のこと。代表的な国内OTAは、じゃらんnet、楽天トラベル、一休、JTBるぶトラベル等。近年は、国内でも、国内OTAに加え、海外OTA (booking.com、Expedia、agoda、Trip.com等) を利用する旅行者も増えている。サービスが登場してから個人旅行やビジネス出張などの手配手段として継続的に発展しており、最近ではパソコンではなくスマホからの利用(予約)が主となってきている。2022年のコロナ影響下の中でも、利用者数は増加傾向にあり、トップシェアの国内OTAの利用者数は1368万人(対前年比177%)と成長している。一方で、大型宿泊施設や各種ホテルグループでは、OTAや旅行代理店(リアルエージェント)からの予約ルートに加えて、エージェントを介さない自社HPからの「直接予約」の強化を図っている。

上記で掲載しているデータは、某国内大手OTA経由の状況を掲載。神戸市内の宿泊施設 約150施設への月別データ(チェックアウトベース)となっている。よって、国内旅行者の全ての販路を集計しているわけではないが、特に平日のビジネス需要も含めた個人旅行の傾向を分析するには有効なものと考えている。

【延べ人泊数 実績】



【平均客単価 実績】



【2023年】

- ・通年で平均客単価の高止まりが続いていた状態。
- ・人泊数は2019年の季節変動値に近い数値で推移。10月以降は2019年を上回る勢いを見せた。

【2024年】

- ・5月はGWに苦戦したという声があったものの、6月は人泊数・単価ともに2019年を上回った。
- ・今年のGWの傾向から、全国的な訪日需要の高まりから宿泊単価が上がっており、国内旅行者の動きが、単価が高く、かつ人出の多くなる時期を避けた旅行へシフトしつつあることも考えられる。
- ・8月は単価の伸びに対して人泊数の伸びが少なく、夏休み期間ゆえの単価上昇、地震、台風、酷暑の影響と思われる。

【予約情報：① 予約スピード】

【神戸市】〔取扱額〕

神戸 有馬 明石		9月	10月	11月	12月	1月	2月
予約 スピード	2019年度比 (9.8時点)	139.4%	172.6%	166.3%	192.1%	205.2%	235.6%
	2023年度比 (9.8時点)	117.4%	130.6%	130.5%	157.7%	142.9%	150.2%
	【前回】2019年比 (8.18時点)	156.2%	182.7%	168.2%	211.6%	199.5%	—

有馬		9月	10月	11月	12月	1月	2月
予約 スピード	2019年度比 (9.8時点)	115.4%	147.7%	162.3%	197.8%	185.8%	515.9%
	2023年度比 (9.8時点)	119.6%	119.3%	123.2%	137.3%	129.6%	178.0%
	【前回】2019年比 (8.18時点)	131.2%	160.9%	179.6%	210.1%	185.0%	—

三ノ宮・ポートアイランド +元町・メリケンパーク		9月	10月	11月	12月	1月	2月
予約 スピード	2019年度比 (9.8時点)	136.9%	173.9%	151.7%	180.8%	222.0%	174.3%
	2023年度比 (9.8時点)	111.8%	133.2%	131.0%	160.8%	149.8%	128.2%
	【前回】2019年比 (8.18時点)	149.1%	173.6%	148.0%	192.8%	226.7%	—

【参考：他エリア比較】〔取扱額〕

淡路島		9月	10月	11月	12月	1月	2月
予約 スピード	2019年度比 (9.8時点)	143.2%	192.3%	213.0%	214.1%	213.3%	444.3%
	2023年度比 (9.8時点)	112.0%	101.5%	105.6%	119.8%	116.2%	93.1%
	【前回】2019年比 (8.18時点)	168.1%	212.1%	234.0%	215.0%	209.8%	—

城崎		9月	10月	11月	12月	1月	2月
予約 スピード	2019年度比 (9.8時点)	105.0%	131.2%	198.6%	195.8%	177.7%	268.3%
	2023年度比 (9.8時点)	108.3%	84.2%	119.0%	121.7%	134.3%	105.4%
	【前回】2019年比 (8.18時点)	125.9%	150.9%	224.1%	215.6%	223.6%	—

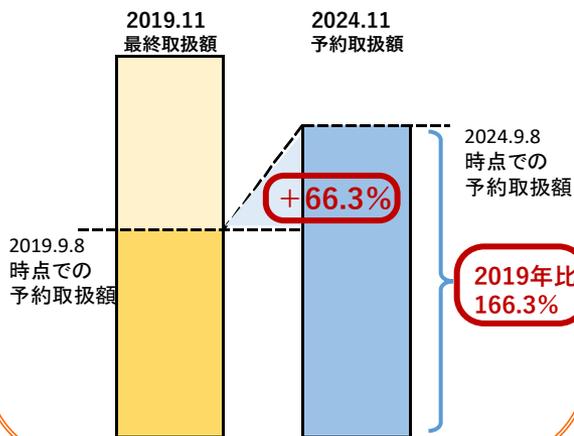
大阪市エリア		9月	10月	11月	12月	1月	2月
予約 スピード	2019年度比 (9.8時点)	156.2%	214.4%	206.4%	263.7%	181.8%	270.8%
	2023年度比 (9.8時点)	105.2%	117.6%	120.5%	179.7%	150.1%	167.4%
	【前回】2019年比 (8.18時点)	181.2%	228.3%	209.6%	256.9%	174.2%	—

京都市エリア		9月	10月	11月	12月	1月	2月
予約 スピード	2019年度比 (9.8時点)	126.4%	174.1%	178.6%	224.2%	159.6%	173.9%
	2023年度比 (9.8時点)	104.6%	125.9%	117.9%	156.0%	140.0%	118.1%
	【前回】2019年比 (8.18時点)	135.3%	181.3%	178.4%	227.6%	154.3%	—

東京23区エリア		9月	10月	11月	12月	1月	2月
予約 スピード	2019年度比 (9.8時点)	136.6%	180.1%	234.6%	242.0%	208.3%	271.3%
	2023年度比 (9.8時点)	106.7%	105.6%	140.3%	150.8%	127.0%	140.5%
	【前回】2019年比 (8.18時点)	156.1%	194.1%	248.1%	216.9%	204.4%	—

国内OTA 予約データの見方①

(例) 全市 2024年11月



このページは、国内OTA予約データの、**予約のスピード感を確認するデータ**です。

【予約情報：②過去の最終実績と現在の取扱額の比較】

【神戸市】〔取扱額〕

神戸 有馬 明石		9月	10月	11月	12月	1月	2月
最終実績 との比較	2019年度比 (9.8時点)	106.6%	72.3%	49.5%	24.7%	16.9%	7.2%
	2023年度比 (9.8時点)	98.9%	61.2%	40.3%	22.8%	15.2%	5.4%

有馬		9月	10月	11月	12月	1月	2月
最終実績 との比較	2019年度比 (9.8時点)	97.6%	71.5%	47.2%	23.1%	11.3%	4.0%
	2023年度比 (9.8時点)	106.4%	66.7%	41.7%	24.0%	12.2%	3.6%

三ノ宮・ポートアイランド +元町・メリケンパーク		9月	10月	11月	12月	1月	2月
最終実績 との比較	2019年度比 (9.8時点)	102.4%	71.9%	50.8%	26.9%	19.7%	9.4%
	2023年度比 (9.8時点)	93.0%	59.3%	41.3%	24.6%	16.2%	6.8%

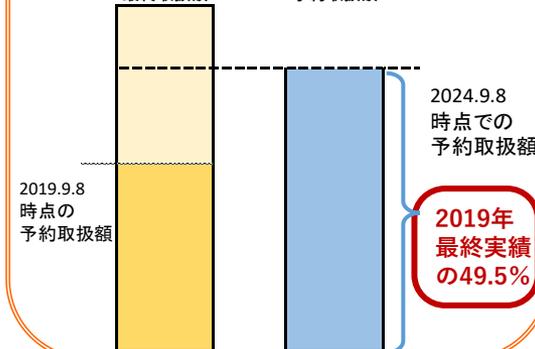
淡路島		9月	10月	11月	12月	1月	2月
最終実績 との比較	2019年度比 (9.8時点)	124.0%	98.7%	55.4%	32.1%	24.9%	5.8%
	2023年度比 (9.8時点)	101.9%	63.3%	39.3%	26.1%	19.2%	4.6%



このページは、国内OTA予約データについて、**現在の取扱額と、2019年や前年の同月最終実績を比較するデータ**です。

国内OTA 予約データの見方②

(例) 全市 2024年11月
2019.11 最終取扱額
2024.11 予約取扱額



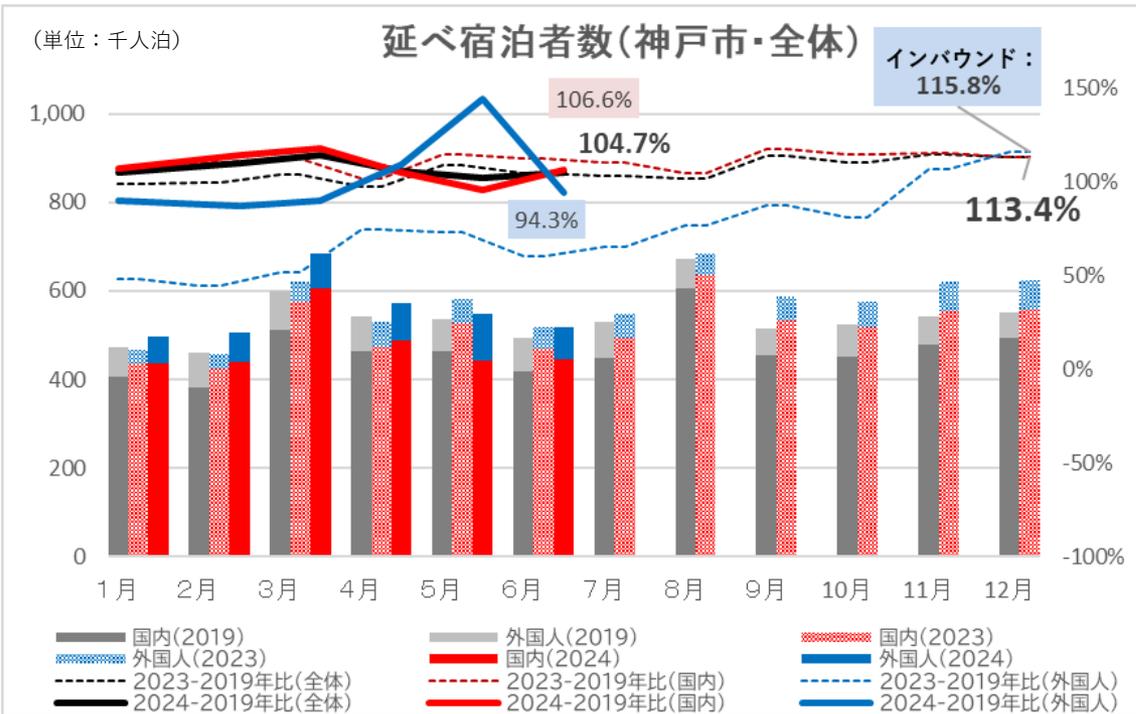
10月以降の予約スピードが加速。2月の有馬は2020年の5倍のスピードに。

- 引き続き気候的に過ごしやすい10月以降の予約スピードが好調。月によってはコロナ前の2倍、有馬の2月は5倍に。1~2月は通常閑散期だが、今年も暖冬&時期的な単価減を見込んだ層が動いている可能性あり。
- 10月の予約取扱額が、9月初旬の時点で2019年比の7割を超えており、各月最終実績との比較でも、好調であることが分かる。(例：2024/8/18の時点で、2024年9月 最終実績との比較：67%)

市内宿泊の動向②

延べ宿泊者数／市内ホテル平均稼働率

【神戸市・全体】



出典：【神戸市】観光庁「宿泊旅行統計調査」
 ・令和6年6月 第2次速報値
 ※ 神戸市 拡大推計値：第2次速報値を用いて神戸観光局で独自試算したもの

(参考)

兵庫県	コロナ前比	114.5% (6月)
全国	コロナ前比	109.9% (6月)

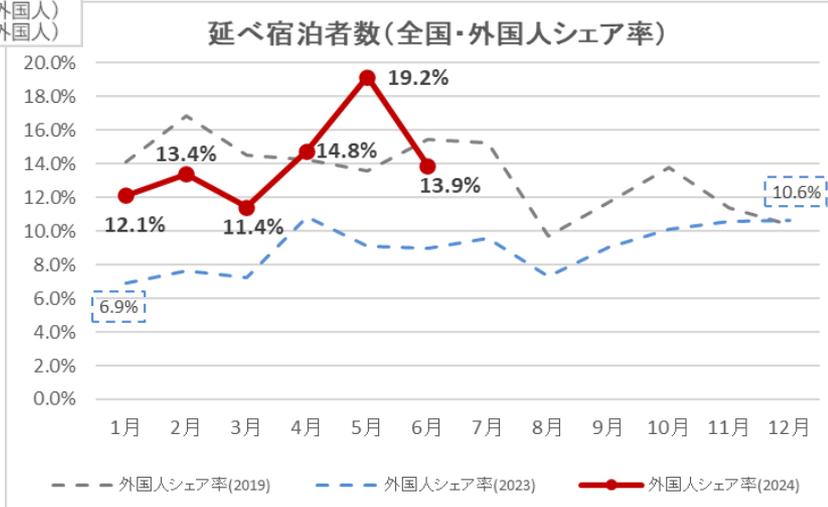


傾向・分析

6月は全体(国内・インバウンドの合計)でコロナ前の104%。国内がコロナ前の106%となった。

- 神戸市全体延べ宿泊者数は1月以降コロナ前を超えて回復。ただしコロナ前と比較すると客室数が増えているエリアもあり、市内の稼働率を回復させるためにも、更なる誘客を考えていく必要がある。
- 宿泊単価が高くなるGWに国内旅行者が伸び悩んだ5月に対し、6月は国内旅行者がコロナ前の106%となった。

※コロナ前比較:2019.1~2019.12をベースに同月比較

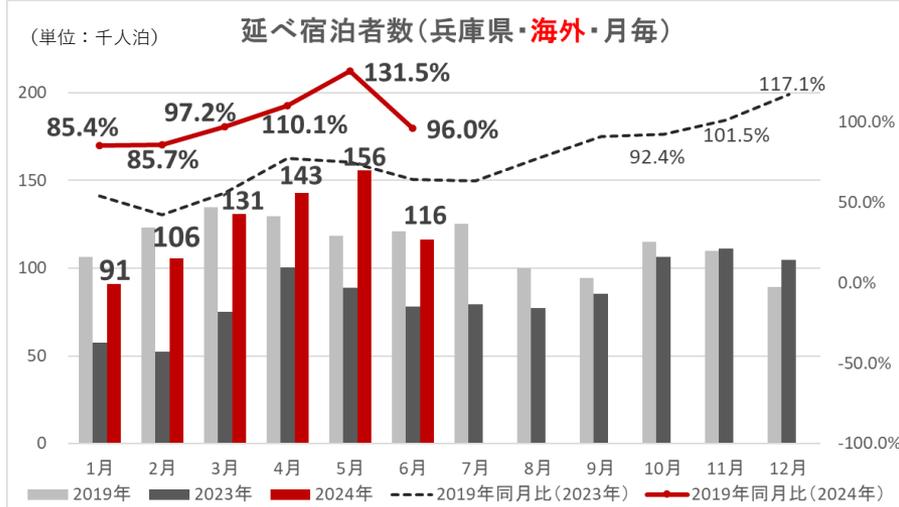


延べ宿泊者数の推移〔推計値〕【インバウンド分析①】

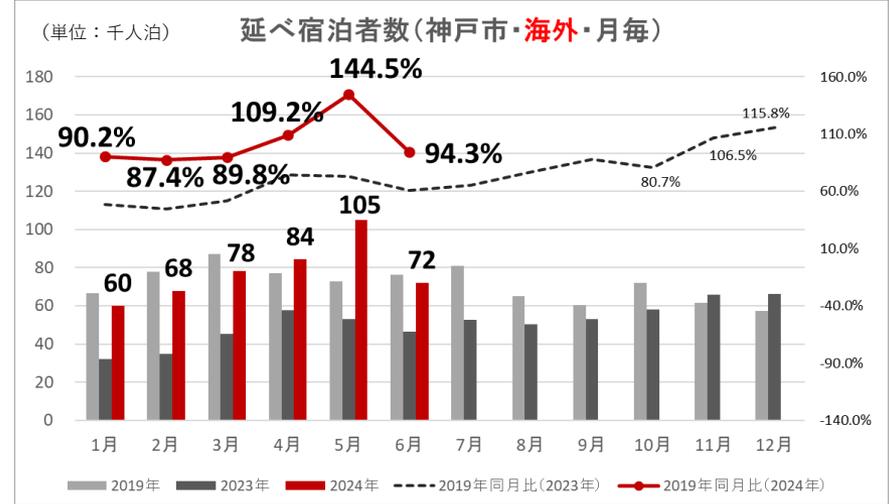
神戸 全国 外国人



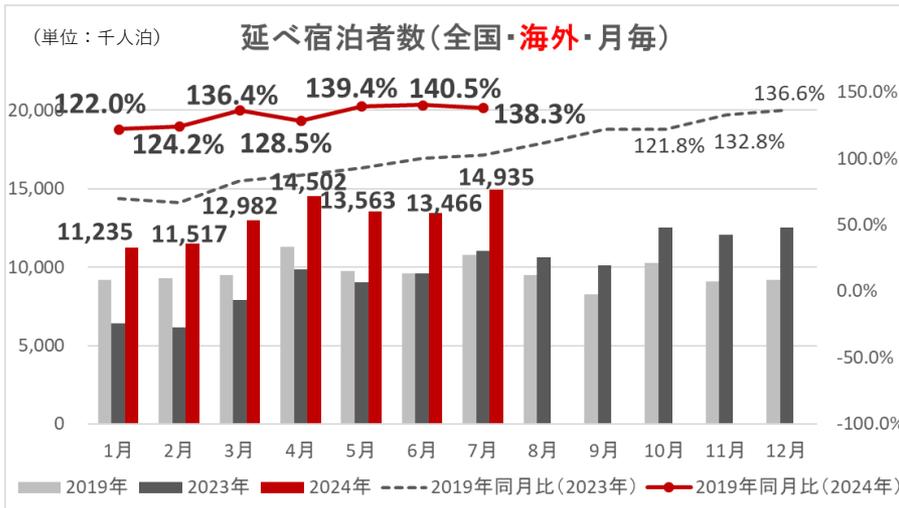
【兵庫県】



【神戸市】



【全国】



6月の傾向・分析

神戸市	コロナ前比 94.3% (6月)
兵庫県	コロナ前比 96.0% (6月)
全国	コロナ前を超えて回復 140.5% (6月)

※コロナ前比較：2019.1～2019.12をベースに同月比較



6月はコロナ前とほぼ同水準の94%に。

■ 神戸観光局の独自試算では、**神戸市**の回復率(コロナ前比)は**6月が94.3%**となった。パラ陸上や国際宝飾展等の開催によりレギュラーに伸びていた5月に対し、6月は通常のコロナ前とほぼ同水準まで戻った。

出典：【全国・兵庫県・神戸市】観光庁「宿泊旅行統計調査」

・令和6年6月 第2次速報値

・令和6年7月 第1次速報値

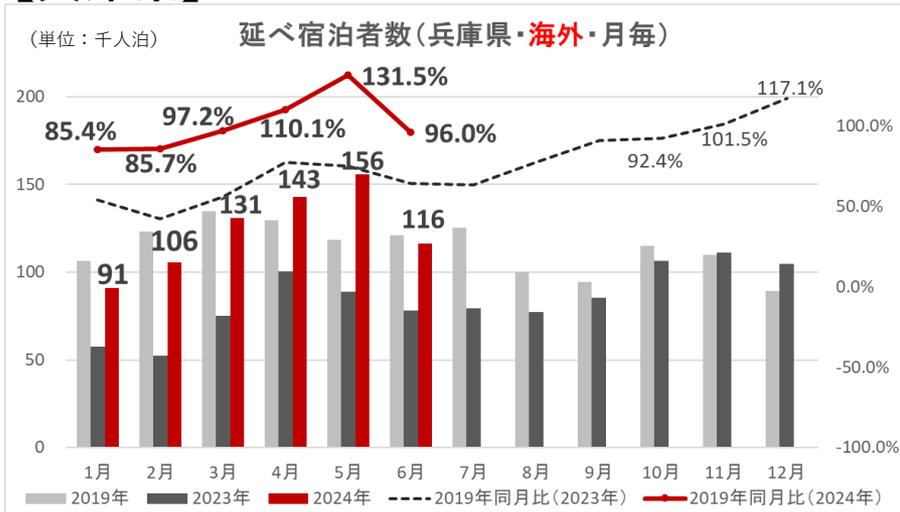
※神戸市 拡大推計値：第2次速報値を用いて神戸観光局で独自試算したもの

延べ宿泊者数の推移〔推計値〕【インバウンド分析②(周辺比較)】

関西 外国人



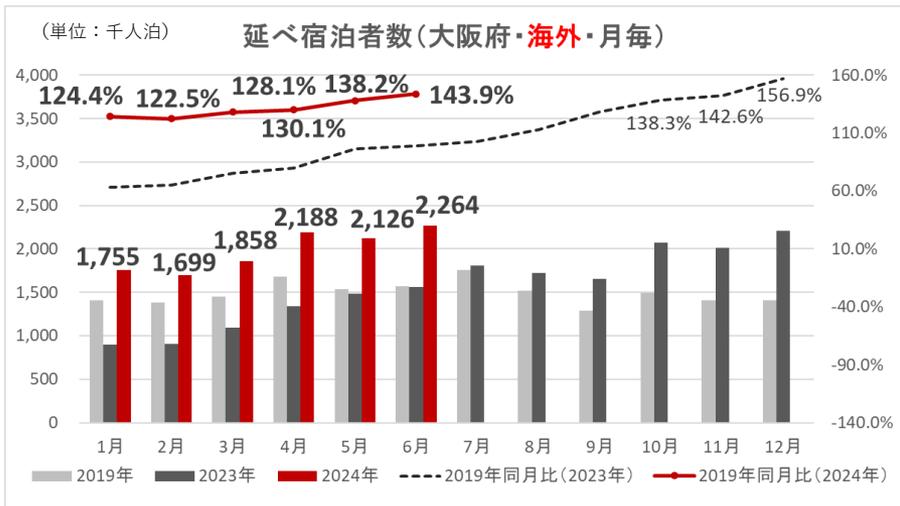
【兵庫県】



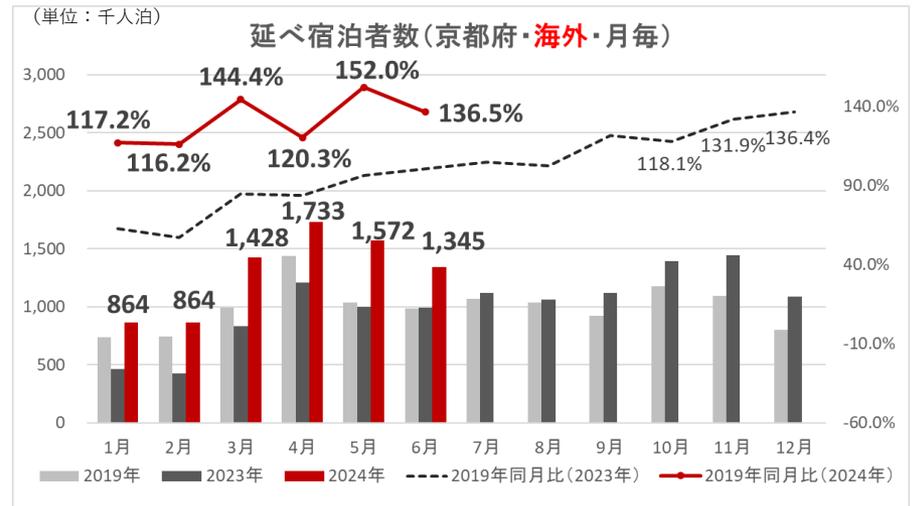
6月の傾向・分析

兵庫県	コロナ前比 96.0% (6月)
大阪府	コロナ前を越えて回復 143.9% (6月)
京都府	コロナ前を越えて回復 136.5% (6月)

【大阪府】



【京都府】



出典：【兵庫県・大阪府・京都府】観光庁「宿泊旅行統計調査」
・令和6年6月 第2次速報値

[全国・周辺エリアの国籍分析は次ページへ](#)

延べ宿泊者数の推移〔推計値〕 国籍分析

【全国】

全国	6月	シェア	2019年同月比
第1位	中国	21.8%	93.0%
第2位	台湾	14.3%	136.0%
第3位	米国	13.2%	215.3%
第4位	韓国	12.8%	138.9%
第5位	香港	6.0%	115.3%
第6位	シンガポール	3.1%	153.8%
第7位	オーストラリア	3.0%	196.9%
第8位	英国	1.7%	170.7%
第9位	タイ	1.6%	110.3%
第10位	カナダ	1.4%	232.4%

6月の傾向・分析

中国以外の国はコロナ前を超える。中国もコロナ前水準に近づくほど回復。

■ **全国**: 1位 中国、2位 台湾、3位 米国。

上位5カ国・地域で全体の68.0%を占める。円安が進み、かつ6月に夏休み期間が始まる米国からの来訪が加速しており、昨年好調だった韓国をも抜く勢い。

■ **兵庫県**: 第1位:中国、第2位:台湾、第3位:韓国。中国・台湾だけで52%を占める。

■ **大阪府**: 第1位:中国、第2位:韓国、第3位:台湾と、昨年は長期にわたり韓国が1位であったが、4月より中国が1位に返り咲いた。

■ **京都府**: 第1位:中国、第2位:米国、第3位:台湾。桜シーズンが過ぎても米・豪が好調。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」・令和6年6月 第2次速報値

兵庫県	6月	シェア
第1位	中国	27.2%
第2位	台湾	25.2%
第3位	韓国	8.6%
第4位	米国	7.9%
第5位	香港	6.5%
第6位	シンガポール	2.4%
第7位	オーストラリア	2.3%
第8位	フランス	2.0%
第9位	タイ	1.4%
第10位	英国	1.2%

大阪府	6月	シェア
第1位	中国	29.0%
第2位	韓国	16.3%
第3位	台湾	12.3%
第4位	米国	8.4%
第5位	香港	5.5%
第6位	シンガポール	2.9%
第7位	オーストラリア	2.8%
第8位	フィリピン	1.9%
第9位	タイ	1.9%
第10位	インドネシア	1.4%

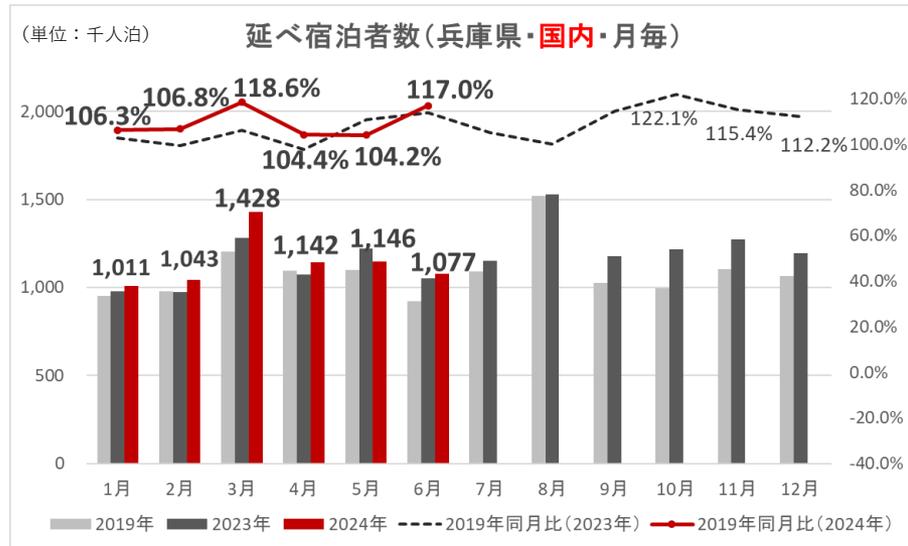
京都府	6月	シェア
第1位	中国	25.5%
第2位	米国	18.7%
第3位	台湾	10.6%
第4位	韓国	5.7%
第5位	香港	3.8%
第6位	オーストラリア	3.6%
第7位	イタリア	2.5%
第8位	シンガポール	2.5%
第9位	スペイン	2.2%
第10位	英国	2.2%

延べ宿泊者数の推移〔推計値〕【国内比較】 ※R6.6まで

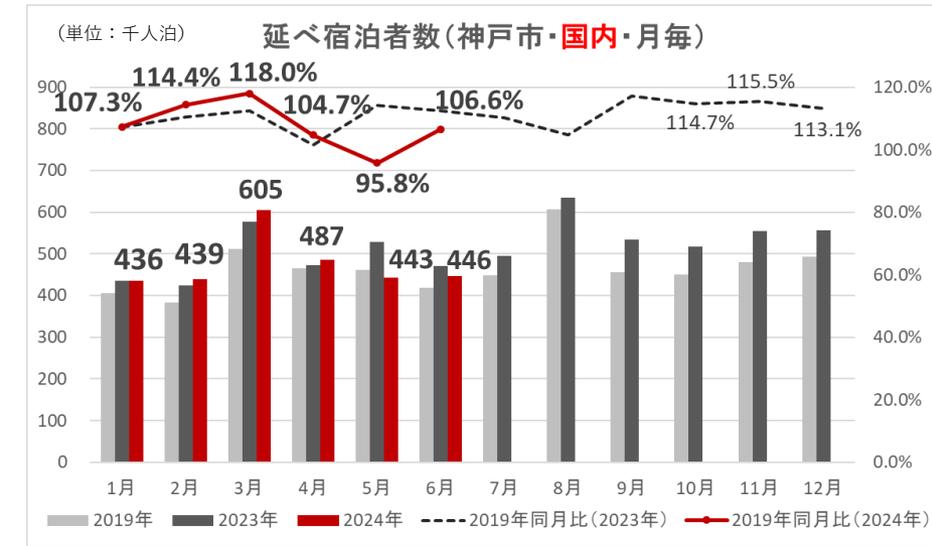
神戸 全国 国内



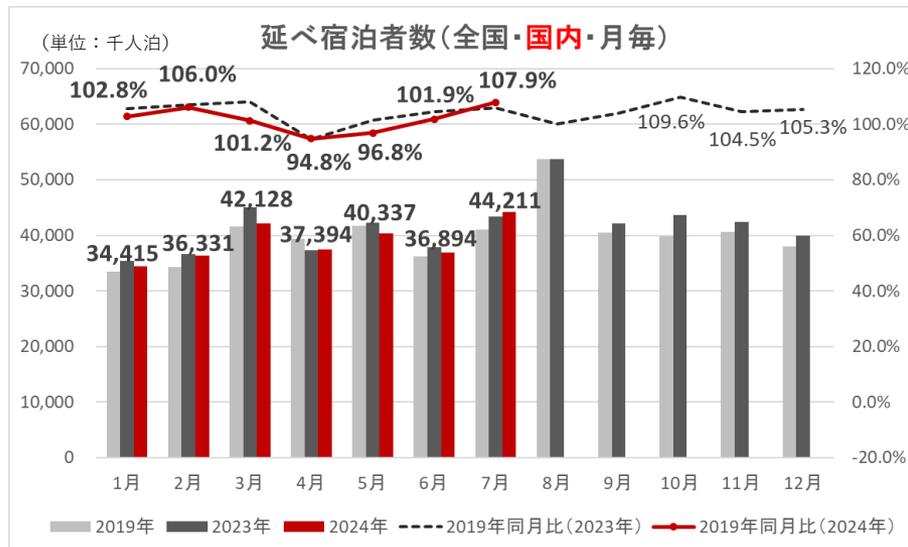
【兵庫県】



【神戸市】



【全国】



6月の傾向・分析

神戸市	コロナ前を超えて回復 106.6% (6月)
兵庫県	コロナ前を超えて回復 117.0% (6月)
全国	コロナ前比 107.9% (6月)

※コロナ前比較：2019.1～2019.12をベースに同月比較

神戸：国内は2019年比 106.6%

- 宿泊単価が高くなるGWに国内旅行者が伸び悩んだ5月に対し、6月は国内旅行者がコロナ前の106%と好調に。パラ陸上等でインバウンドがホテルを占めた5月と違って、6月は国内が回復した分、インバウンドは5月と比較すると落ち着いた。

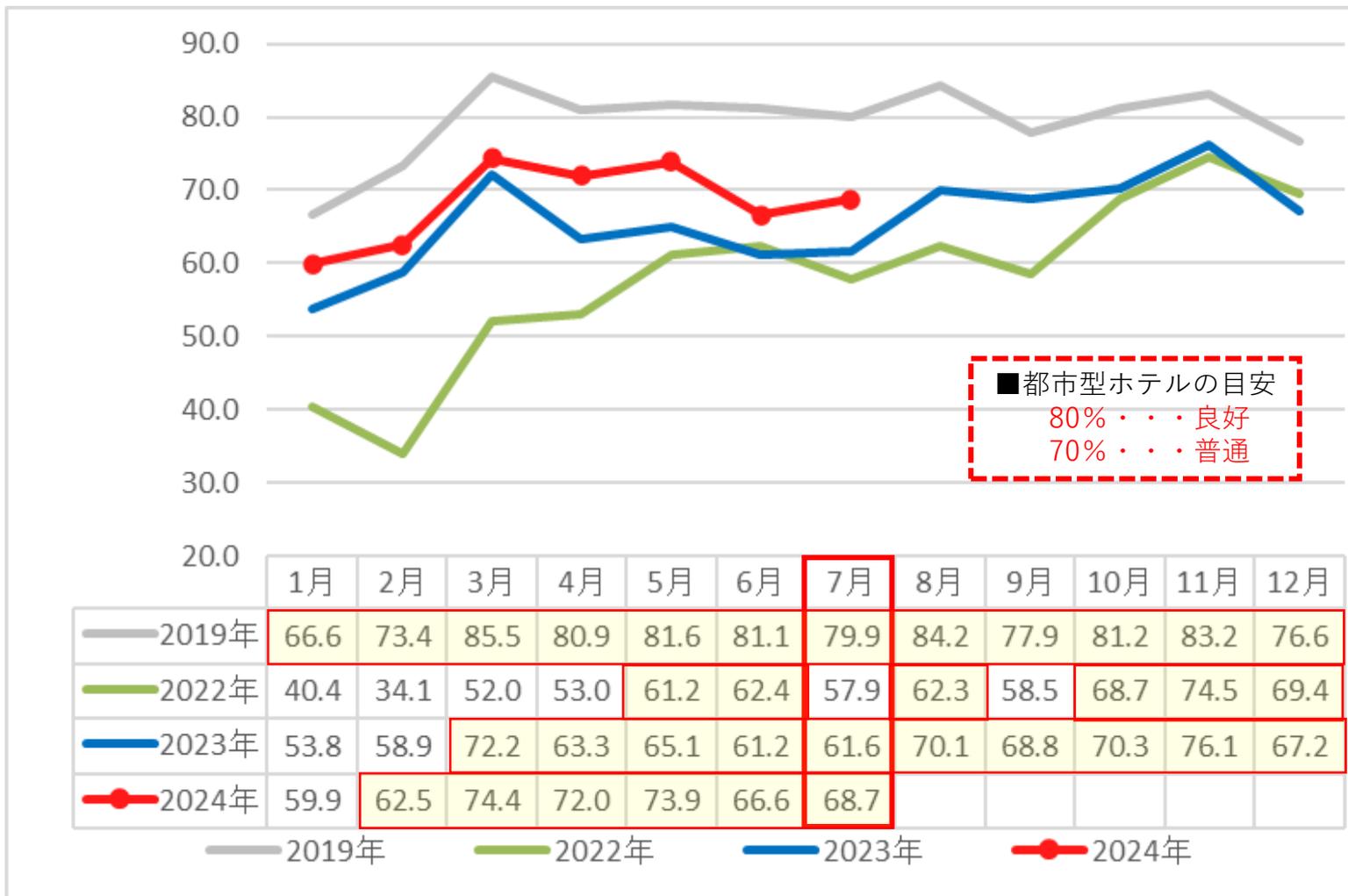
出典：【全国・兵庫県・神戸市】観光庁「宿泊旅行統計調査」

- ・令和6年6月 第2次速報値
- ・令和6年7月 第1次速報値

※神戸市 拡大推計値：第2次速報値を用いて神戸観光局で独自試算したもの

市内ホテル平均稼働率

神戸



■都市型ホテルの目安
 80%・・・良好
 70%・・・普通

※10社ベース

【参考】英調査会社STR発表
7月 国内ホテル稼働率

全国：75.4%
 (前月比 ±0.2pt)

STRがまとめた7月の国内ホテルの平均客室単価は2万960円で前年同月を12.8%上回った。1996年の調査開始以来、7月としては最高だった。東京、大阪、京都など訪日外国人(インバウンド)の多い地域が単価の上昇をけん引している。平均稼働率は75.4%。高水準の目安とされる75%を5カ月連続で上回った。日次の最高稼働率は13日の89.7%だった。STRは「夏の最繁忙期となる8月も、単価と稼働率はともに伸びが続いたとみられる」と指摘する。

全国のインバウンドに関する情報

訪日外客数

2024年月別訪日外客数(対2019年比)

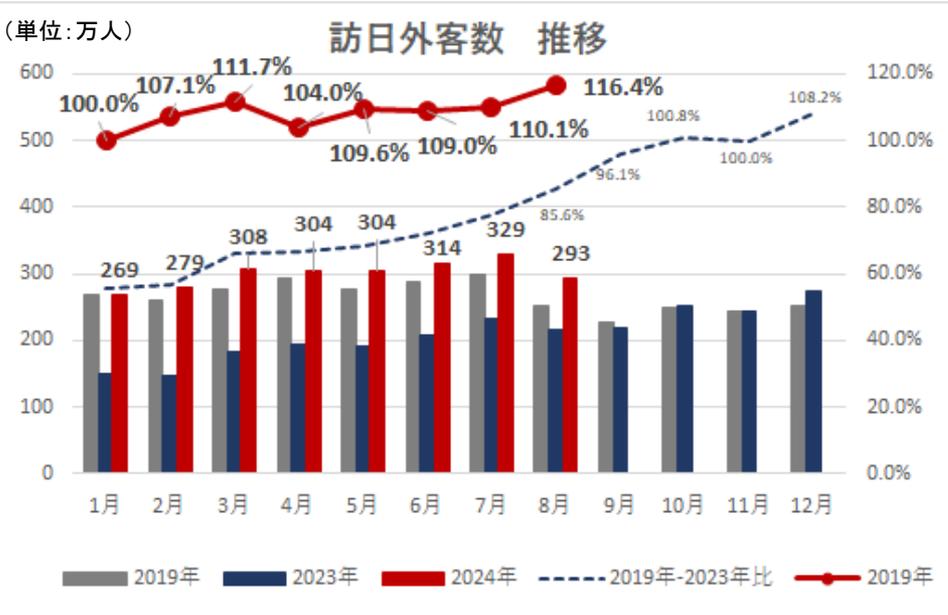
全国 外国人



訪日外客数(全国)			
	2019	2024	2019比
6月	2,880,041名	3,140,642名	109.0%
7月	2,991,189名	3,292,500名	110.1%
8月	2,520,134名	2,933,000名	116.4%

- ・ 8月の訪日外客数は、2,933,000人。前年同月比では36.0%増、2019年同月比では16.4%増となり、7か月連続で同月過去最高を記録した。
- ・ 台風7号による航空便欠航等の影響が見られたものの、前月に引き続き学校休暇による訪日需要の増加もあった。
- ・ 17市場で8月として過去最高を記録したほか、イタリア、スペインでは単月過去最高を更新した。

	訪日外客数 Visitor Arrivals		
	2019	2024	伸率 Change %
1 Jan.	2,689,339 (2,345,029)	2,688,478 (2,386,640)	0.0 (1.8)
2 Feb.	2,604,322 (2,341,479)	2,788,224 (2,548,085)	7.1 (8.8)
3 Mar.	2,760,136 (2,411,650)	3,081,781 (2,771,105)	11.7 (14.9)
4 Apr.	2,926,685 (2,640,569)	3,043,003 (2,763,384)	4.0 (4.7)
5 May	2,773,091 (2,455,865)	3,040,294 (2,758,219)	9.6 (12.3)
6 Jun.	2,880,041 (2,614,533)	3,140,642 (2,913,631)	9.0 (11.4)
7 Jul.	2,991,189 (2,713,329)	3,292,500 *	10.1 *
8 Aug.	2,520,134 (2,206,746)	2,933,000 *	16.4 *
9 Sep.	2,272,883 (1,913,105)		
10 Oct.	2,496,568 (2,177,382)		
11 Nov.	2,441,274 (2,145,425)		
12 Dec.	2,526,387 (2,292,029)		
1~8 Jan.-Aug.	22,144,937 (19,729,200)	24,007,900 *	8.4 *
1~12 Jan.-Dec.	31,882,049 (28,257,141)		



その他の値は確定値。
()内は総数のうちの観光客数

- 2022.6.10~ 添乗員付きパッケージツアーに限定した訪日観光が再開。
- 9/7~ ワクチン3回接種を条件に入国時陰性証明不要、添乗員無しパッケージツアーの容認、1日当たり入国上限を5万人に。
- 10/11~ 1日当たりの入国者数の上限撤廃、短期ビザ免除、個人旅行解禁。入国時検査や待機もワクチン3回接種証明か陰性証明で原則撤廃。
- 2023.4.29~ 新型コロナウイルス5類化に伴い、日本の出入国者に求めているワクチン3回接種証明や陰性証明の提出が不要に。

○水際対策(厚労省)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00209.html

出典: 日本政府観光局(JNTO)9/18プレスリリース「訪日外客数(2024年8月推計値)」

2024年8月訪日外客数の各国・地域別ランキング(対2019年比)

全国 外国人

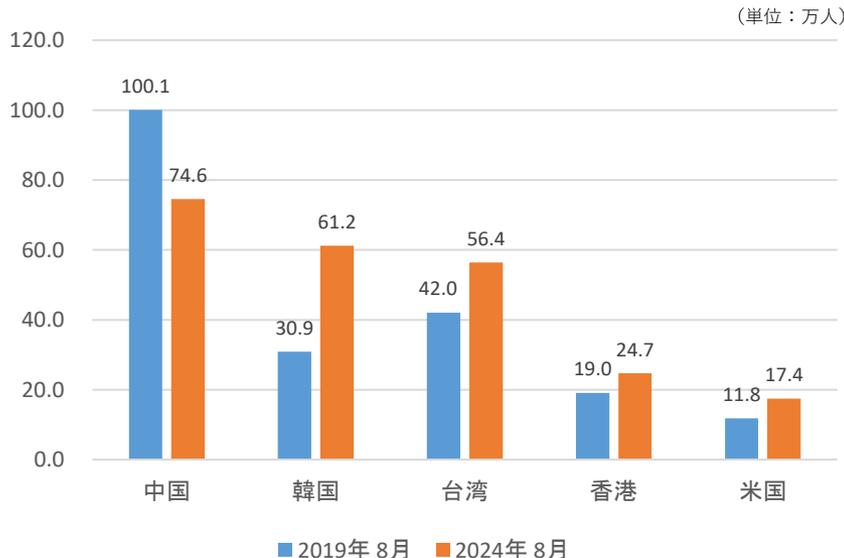


国・地域	総数				2024 総数			
	2019年 8月	2024年 8月	(順位)	2019比 (%)	2019年 1月～8月	2024年 1月～8月	(順位)	2019比 (%)
中国	1,000,639人	745,800人	(1位)	74.5%	6,583,524人	4,595,200人	(2位)	69.8%
韓国	308,730人	612,100人	(2位)	198.3%	4,733,063人	5,811,900人	(1位)	122.8%
台湾	420,279人	564,300人	(3位)	134.3%	3,360,344人	4,115,200人	(3位)	122.5%
香港	190,260人	246,600人	(4位)	129.6%	1,504,959人	1,801,800人	(4位)	119.7%
米国	117,828人	174,000人	(5位)	147.7%	1,149,817人	1,768,100人	(5位)	153.8%

韓国が2019年比約200%で推移している。仁川～岡山間、仁川～旭川間、釜山～福岡間の増便等の影響で日本への直行便数は前年同月を上回っている。

香港～成田間の増便の他、香港～徳島間、香港～仙台間のチャーター便の運航もされた影響で前月に引き続き、好調を維持している。

訪日外客数 各国・地域別ランキング



8月動向

- 8月の訪日外客数は、2,933,000人で、前年同月比では36.0%増、2019年同月比では16.4%増となり、7か月連続で同月過去最高を記録した。
- 台風7号による航空便欠航等の影響が見られたものの、前月に引き続き学校休暇による訪日需要の増加もあり、東アジアでは中国、東南アジアではシンガポールとインド、欧米豪・中東地域では米国などで前年同月に比べて訪日外客数が増加したことが今月の押し上げ要因となった。
- 23市場のうち17市場（台湾、香港、シンガポール、インドネシア、フィリピン、ベトナム、インド、豪州、米国、カナダ、メキシコ、英国、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、中東地域）において8月として過去最高を記録したほか、イタリア、スペインでは単月過去最高を更新した。
- 昨年3月に策定された第4次観光立国推進基本計画では3つの柱「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」が示されるとともに、旅行消費額・地方部宿泊数等に関する新たな政府目標が掲げられているところ、これらの実現に向けて、市場動向を綿密に分析しながら、戦略的な訪日旅行プロモーションに取り組んでいく。

交通機関に関する情報

航空業界の状況／クルーズ船の状況

関西国際	5月	6月	7月
総旅客数(人)	2,487,602	2,504,330	2,655,741
2019年比	90%	92%	95%
国際線 発着数(回)	11,973	11,684	12,411
2019年比	89%	88%	90%
国際線 旅客数(人)	1,946,883	1,986,786	2,067,034
2019年比	90.1%	92.2%	94.7%
うち外国人 旅客数(人)	1,574,809	1,622,905	1,670,731
2019年比	106.1%	105.7%	109.0%
国内線 旅客数(人)	540,719	517,544	588,707
2019年比	90%	94%	96%

神戸	5月	6月	7月
国内線 発着数(回)	2,898	2,556	2,621
2019年比	110%	106%	106%
国内線 旅客数(人)	301,220	294,832	308,563
2019年比	109%	112%	110%

< 関西国際空港・神戸空港の状況 >

- ・国際線旅客数は、外国人旅客数が単月として開港以来過去最高となる167万人を記録しました。国際線旅客数全体としては2019年同月比95%まで回復が進み、新型コロナウイルス感染症の流行後初めて単月として200万人を超える結果となりました。
- ・神戸空港発着回数は、前年同期間比86%、2019年比106%。旅客数は、前月同期間比101%、2019年比110%。

📖 [直近1年間の関西国際空港・神戸空港の利用状況は46ページ](#)、
[2024年7月までの神戸空港就航都市路線別旅客数・利用率は47ページ](#)へ

出典：関西エアポートニュースリリースより作成

※国内線旅客数は発着者数計、国際線旅客数は出入国者数計となります。





入国状況 (人数)	3月	4月	5月	6月	前年 同月比	2019年 同月比
英国	7,571	5,565	5,222	4,238	159%	100%
フランス	6,650	10,801	9,190	4,971	147%	114%
豪州	12,975	13,744	11,348	10,868	192%	191%
米国	28,915	21,835	25,166	35,498	151%	137%
中国	159,616	185,448	193,030	230,239	248%	77%
台湾	110,630	102,727	114,491	128,800	127%	124%
香港	66,144	47,289	61,059	71,721	138%	119%
韓国	205,604	199,347	217,128	198,061	114%	125%
タイ	34,610	40,790	29,473	15,614	108%	109%
マレーシア	13,118	15,518	13,024	6,687	93%	84%
インドネシア	7,252	16,260	8,502	9,942	113%	91%
シンガポール	15,517	12,101	17,396	15,632	102%	129%
合計	668,602	671,425	705,029	732,271	146%	104%

ターゲット国のうち、マレーシア以外において前年同月比100%超えとなっている。

オーストラリアに関しては約200%近くまで伸びており、2024年4月から関空ーシドニー間の復便などにより日本への直行便数が前年同月を上回っていることも影響していると考えられる。

ターゲット12か国合計、前年同月比146%

ターゲット12か国合計、2019年同月比104%

- ▶ ランキング及び前年同月比
 - ・1位 中国：230,239人 / 248% (前年同月比) 77%(2019年同月比)
 - ・2位 韓国：198,061人 / 114% (前年同月比) 125%(2019年同月比)
 - ・3位 台湾：128,800人 / 127% (前年同月比) 124%(2019年同月比)
- ▶ コロナ明けからずっと1位だった韓国が、2024年6月に中国に抜かれ2位となった。中国の戻りが加速している。

前年同月比 ≒ 129%

※2024.8月速報値

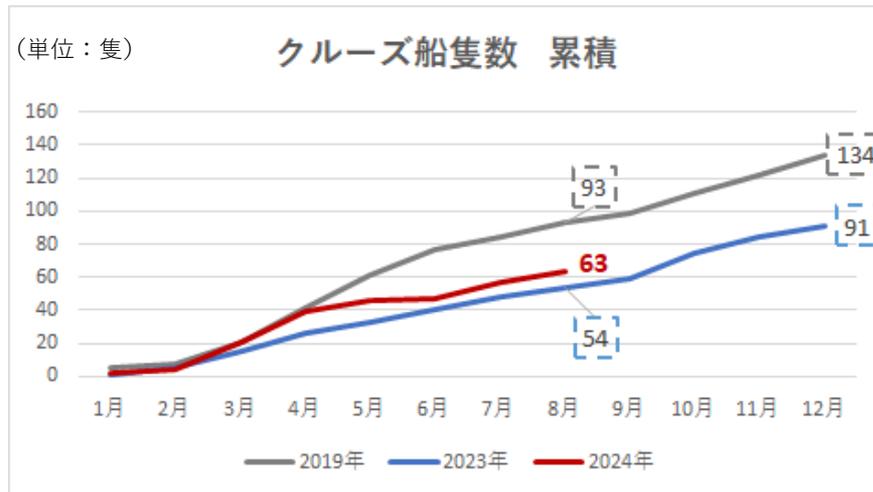
関西国際空港入国者数：762,632人 (7月：831,035人 6月：812,689人)

※ターゲット国12か国を含めた全入国者数

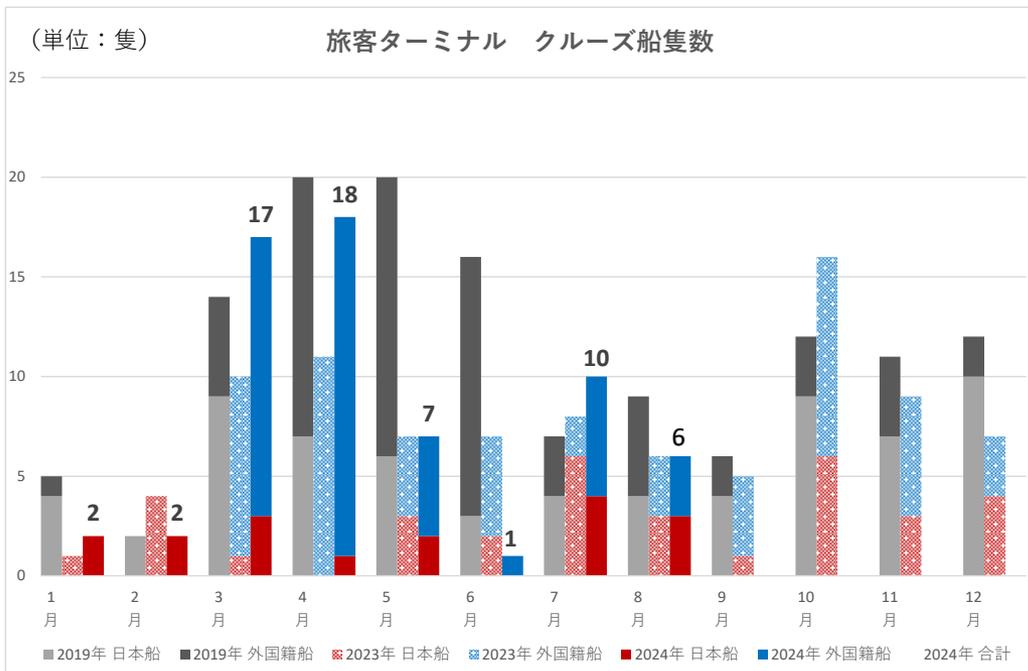
【クルーズ船 隻数】

クルーズ船寄港実績		8月分				
		2024年	2023年	前年比	2019年	2019年比
日本船	隻数	3	3	100%	4	75%
外国籍船	隻数	3	3	100%	5	60%
総合計	隻数	6	6	100%	9	67%
	船客数	4,856	6,924	70%	9,441	51%

(参考グラフB) クルーズ船 隻数の累積



(参考グラフA) クルーズ船 隻数 月別推移



2024年8月

日本船 : 3隻

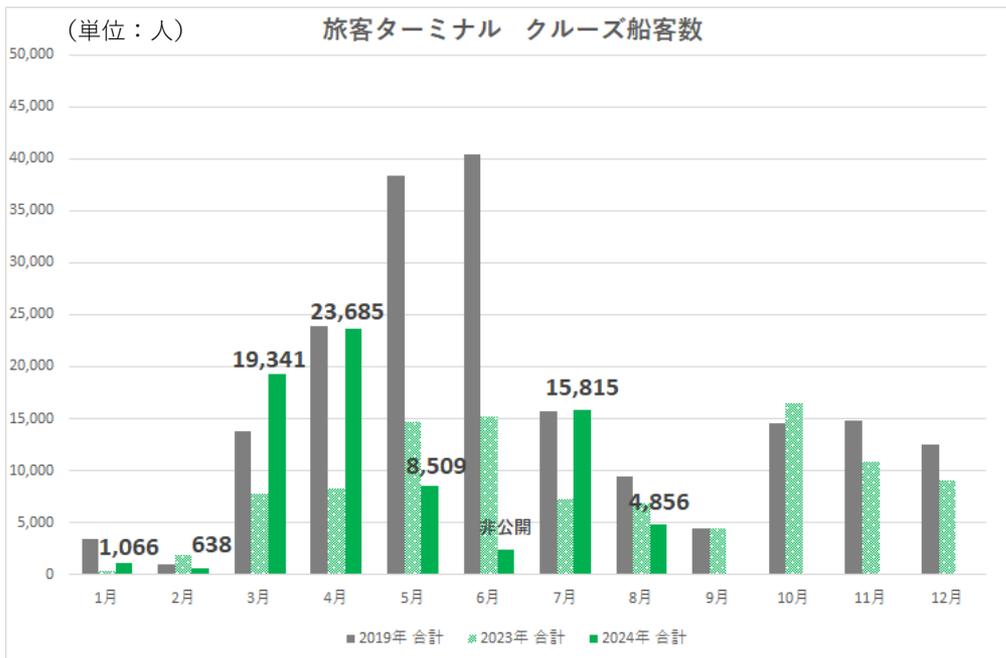
外国籍船 : 3隻

合計 : 6隻 が入港

- ・ 合計隻数は6隻で、昨年比100%となった。2019年同月比では67%。
- ・ 累積では2019年比68%となりまだ下回っているが、2023年比では117%と上回っている。

【クルーズ船 船客数】

(参考グラフC) クルーズ船 船客数 月別推移



クルーズの乗船客 市内観光案内所に立ち寄る

8/21 セレブレティミレニアムの入港により、三宮・新神戸の観光案内所に多くの欧米系の乗船客が訪れました。さらに北野異人館でも多くの欧米系の乗船客が観光に訪れました。

9/2の再入港時にも三宮・新神戸の案内所には多くの乗船客が来所されました。

客船クラス情報

カジュアルクラス

大型客船が中心で、エンターテインメント性が重視される。

クルーズ初心者が挑戦しやすいランク。

プレミアムクラス

中大型客船が中心で、船内は落ち着いたイメージ。ワンランク上のサービスや施設を楽しむことが可能。

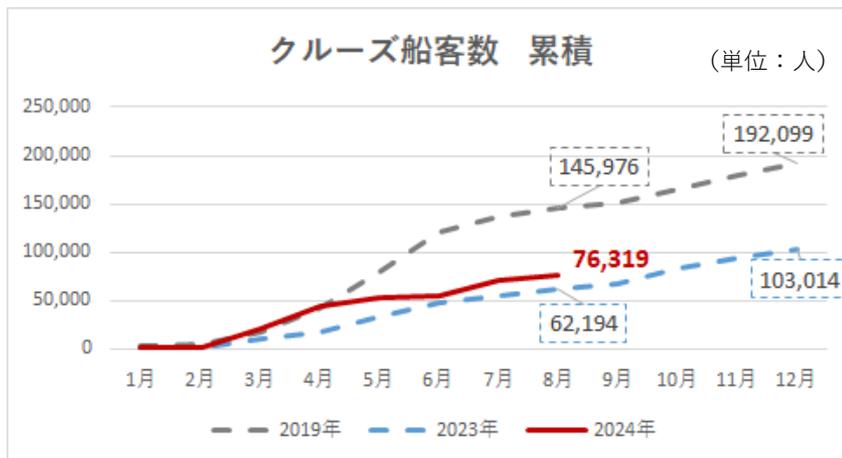
ラグジュアリークラス

中小型客船が中心となり、質の高いサービスを受けられる。大型客船では入港出来ない小さな港への訪問が可能なのも魅力。

台風の影響により、入港日時の変更、キャンセルなどが相次いだ。

8/18に入港したパシフィックワールドは予定より1日遅れて神戸に入港し、地球一周の船旅へ出港したが、台風の影響で次港が変更となった。

(参考グラフD) クルーズ船 船客数の累積



【クルーズ船】10月の入港予定情報

神戸



中国で初めて建造された大型クルーズ客船「アドラ・マジック・シティ」が神戸に初入港します！

客船名	寄港日時	総トン数	乗客定員 ※クルーは 含めず	主な乗客 ※予測	ランク	入港場所
飛鳥II	10/1(火)9:00~17:00	50,444トン	872名	日本人	ラグジュアリー	ポートターミナル
ル・ソレアル	10/1(火)7:00~3(木)18:00	10,992トン	264名	欧米系	プレミアム	中突堤ターミナル
アドラ・マジック・シティ	10/3(木)15:00~4(金)5:30	136,201トン	5,246名	中国人	カジュアル	ポートターミナル
セブンシーズ・エクスプローラー	10/9(水)12:00~10(木)19:00	55,254トン	746名	欧米系	ラグジュアリー	ポートターミナル
にっぽん丸	10/15(火)9:00~19:00	22,472トン	392名	日本人	プレミアム	中突堤ターミナル
にっぽん丸	10/18(金)17:00~20:00	22,472トン	392名	日本人	プレミアム	中突堤ターミナル
セブンシーズ・エクスプローラー	10/20(日)8:00~21(月)19:00	55,254トン	746名	欧米系	ラグジュアリー	ポートターミナル
にっぽん丸	10/25(金)9:00~17:00	22,472トン	392名	日本人	プレミアム	中突堤ターミナル
にっぽん丸	10/29(火)10:30~19:00	22,472トン	392名	日本人	プレミアム	中突堤ターミナル
レガッタ	10/31(木)11:00~11/1(金)19:00	30,277トン	684名	欧米系	プレミアム	中突堤ターミナル
セブンシーズ・エクスプローラー	10/31(木)10:00~11/1(金)18:00	55,254トン	746名	欧米系	ラグジュアリー	ポートターミナル



▲アドラ・マジック・シティ

▲セブンシーズ・エクスプローラー

※寄港時間の詳細（入港時間・出港時間）は、天候等により変更になる場合があります。最新情報は神戸市港湾局ホームページにてご確認ください。 [神戸市：客船入港予定 \(kobe.lg.jp\)](http://kobe.lg.jp)

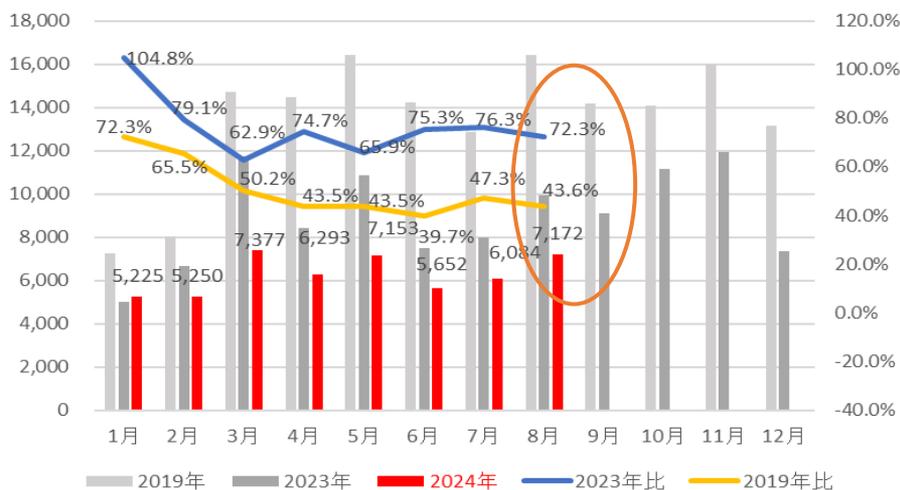
※本資料では参考として客船の「定員数」を掲載しています。実際の「乗船客数」とは異なりますのでご注意ください。
※客船のランクについてはクルーズの価格帯で分類され、一般的にラグジュアリー>プレミアム>カジュアルの順となります。

- ・10/3「アドラ・マジック・シティ」入港時に「神戸市消防音楽隊」による歓迎演奏、歓迎カラー放水が予定されています。
- ・10/20「セブンシーズ・エクスプローラー」入港時に「神戸ミレニアム・ウインズ」による歓迎演奏が予定されています。
- ・10/31「レガッタ」入港時に「神戸市消防音楽隊」による歓迎演奏が予定されています。

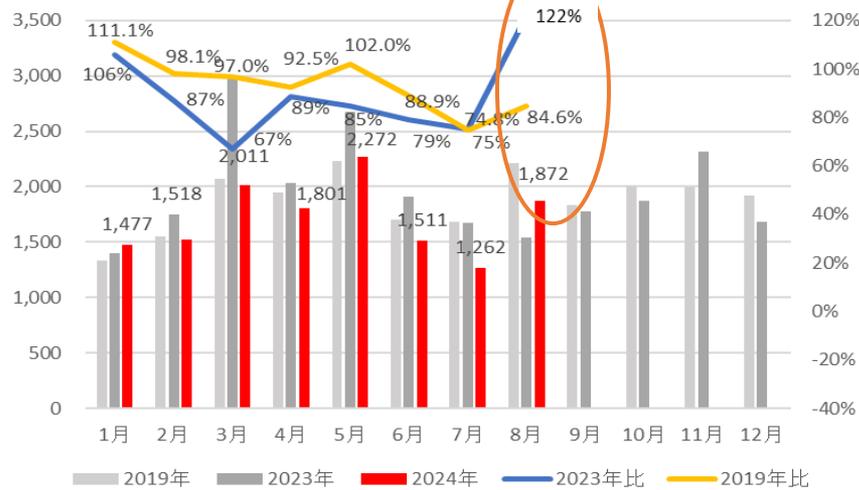
神戸市内観光に関する情報

～神戸観光局オリジナルデータ～

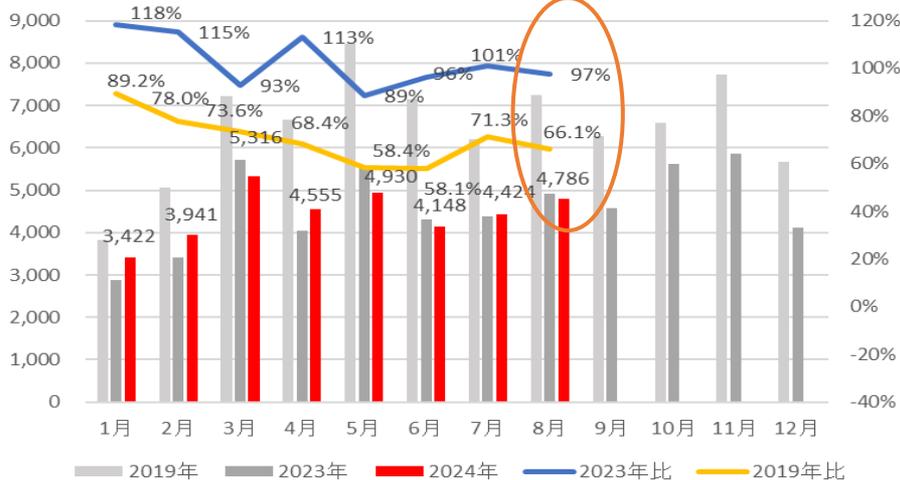
総合IC



北野



新神戸



○総合インフォメーションセンター（JR三宮駅東口南）

前年比72.3%、2019年比43.6%

※駅前工事の影響で、来館者の減少が続いている。

○北野観光案内所（北野異人館街）

前年比122%、2019年比84.6%

○新神戸駅観光案内所（JR新神戸駅構内、改札前）

前年比97%、2019年比66.1%

8月案内所全体件数 13,830件 ⇒ 前月比117.5% 前年同月比84.5% 2019年比 53.4%

国・地域	総合IC	北野	新神戸	合計	割合		
アジア	韓国	209	225	36	470	9.5%	
	中国	398	248	110	756	15.2%	
	台湾	331	405	65	801	16.1%	
	香港	91	60	21	172	3.5%	
	タイ	26	1	19	46	0.9%	
	シンガポール	7	5	15	27	0.5%	
	マレーシア	5	1	23	29	0.6%	
	インドネシア	10	0	5	15	0.3%	
	フィリピン	18	8	14	40	0.8%	
	ベトナム	1	0	0	1	0.0%	
	インド	3	3	4	10	0.2%	
	パキスタン	0	0	0	0	0.0%	
	バングラデシュ	1	0	0	1	0.0%	
	その他アジア	1022	8	80	1110	22.4%	
中東	イスラエル	0	2	5	7	0.1%	
	トルコ	0	0	0	0	0.0%	
	イラン	0	0	2	2	0.0%	
	その他中東	3	0	0	3	0.1%	
ヨーロッパ	英国	7	4	16	27	0.5%	
	フランス	59	57	103	219	4.4%	
	イタリア	11	21	61	93	1.9%	
	ロシア	0	1	0	1	0.0%	
	ギリシャ	0	0	2	2	0.0%	
その他ヨーロッパ	アイルランド	0	0	0	0	0.0%	
	その他ヨーロッパ	378	24	160	562	11.3%	
	アフリカ	南アフリカ共和国	0	0	0	0	0.0%
		エジプト	0	0	0	0	0.0%
その他アフリカ		1	0	0	1	0.0%	
北アメリカ	米国	29	26	102	157	3.2%	
	カナダ	4	7	21	32	0.6%	
	メキシコ	0	1	1	2	0.0%	
	その他北米	11	0	0	11	0.2%	
南アメリカ	ブラジル	0	0	0	0	0.0%	
	アルゼンチン	0	0	0	0	0.0%	
	コロンビア	0	1	0	1	0.0%	
	その他中南米	40	2	15	57	1.1%	
オセアニア	オーストラリア	10	0	24	34	0.7%	
	ニュージーランド	0	0	3	3	0.1%	
	その他オセアニア	0	0	0	0	0.0%	
地域不明	0	34	238	272	5.5%		
	(人)	2675	1144	1145	4964	100.0%	

〔総合ICより概況〕

- ・外国籍利用者2,675人、2019年同月比53.1%、前年同月比75.9%
- ・中国からの個人観光客の増加は依然として目立つ。
- ・中国、台湾、韓国、香港からの観光客でインバウンド全体の約40%を占める。中国が引き続きNo1で台湾、韓国、香港と続く。
- ・ノープランで来館する方はほぼおらず、人気施設の「神戸どうぶつ王国」についての問い合わせが圧倒的に多い。
- ・8月に入って六甲山や摩耶山、有馬温泉へのアクセスや、関連する企画きっぷの問い合わせも増加傾向。

〔北野観光案内所より概況〕

- ・外国籍利用者1,144人、2019年同月比66.4%、前年同月比145.2%
- ・アジア系が最も多くトータルで964名、外国人全体の約85%を占めた。
- ・アジア系の中では台湾405名（約44%）、中国248名（約22%）、韓国225名（約22%）、香港60名（約5%）、その他26名の順番であった。
- ・ヨーロッパではフランスが57名で一番多くその他ヨーロッパ約10ヶ国から来所される。
- ・南北アメリカ、豪州地域では米国26名、カナダ7名、メキシコ1名、チリ2名、コロンビア1名の来所がありました。中東関係ではイスラエル2名の来所がありました。
- ・各異人館の場所、割引券、トイレの場所、夜景、ハーブ園、南京町、神戸ステーキ、神戸のお土産、摩耶山、港方面への行き方などの質問があった。
- ・スタンプは相変わらず人気があります。

〔新神戸観光案内所より概況〕

- ・外国籍利用者1,145人、2019年同月比160%、前年同月比92%
- ・訪れる場所として神戸を選んだ理由を尋ねると、神戸牛を目的とする方が多かったが、大都市より混んでいないからという理由を上げる方もいた。以前より変わらず、大阪宿泊で、神戸に日帰りて来られる方の割合多い。
- ・阿波踊りの時期に、高速バスで徳島へ向かう方が一定数見られた。
- ・現金でしか支払えない、もしくは海外のクレジットカードが使えない施設が、まだ神戸には多い。キャッシュレスの浸透した中国のお客様が、銀聯カードでATMから現金を引き出せず困るケースが増えてきている。

8月案内所全体件数 4,964件 ⇒ 前月比87.8%
2019年比66.4% 前年同月比89.3%

○ 総合インフォメーションセンター

9-18時の時短営業

- 〔件数状況〕 ・8月中下旬～9月中旬は平日250件ほど、休日350件ほど。
- 〔客層〕 ・国内、年配のご夫婦、男性、女性ともご年配の方の来所が非常に多い。
・インバウンドは、アジア系のファミリー・グループなど。特に中国FITが急増している。
- 〔行き先〕 ・国内、どうぶつ王国・須磨シーワールド・アトア・淡路島&徳島&香川など。
・アジア系、どうぶつ王国・ハーブ園・有馬・六甲山・三田プレミアムアウトレット・淡路島など。
・欧米系、ハーブ園・六甲山・ハーバーランド・布引の滝・姫路など。
- 〔内容〕 ・**暑さのため、国内外共にループバス1日券や2日券を購入し周遊するケースが多かった。**
・六甲山からの夜景や神戸の夜景が見えるホテルに対する問い合わせが増えた。
・8/21、9/2に大型クルーズ船の入港があり、欧米の方の来所が集中した。
・8月最終週は台風の影響で交通や閉館などの問い合わせが多く、且つ日本人の来所が激減した。

○ 北野観光案内所

通所営業時間

9-18時 (3月～10月)

9-17時 (11月～2月)

- 〔件数状況〕 ・8月中下旬～9月中旬は平日70件ほど、休日95件ほど。
- 〔客層〕 ・国内、お子様連れのファミリー層、グループ客など。
・インバウンドは、アジア系（特に中国や台湾のファミリー層）が多い。クルーズ船の欧米客など。
- 〔行き先〕 ・国内、異人館全般・ハーブ園・須磨シーワールド・中華街・ベイエリアなど。
・インバウンド、異人館・ハーブ園・布引の滝・北野天満神社・ベイエリア・神戸ビーフの店など。
- 〔内容〕 ・**8/21は大型クルーズ船の入港により欧米系の観光客が団体で来所された。**
・8月最終週は台風の影響で日本人の来所はほとんどなかった。インバウンドは影響が少なかった。

○ 新神戸駅観光案内所

9-17時の通常営業

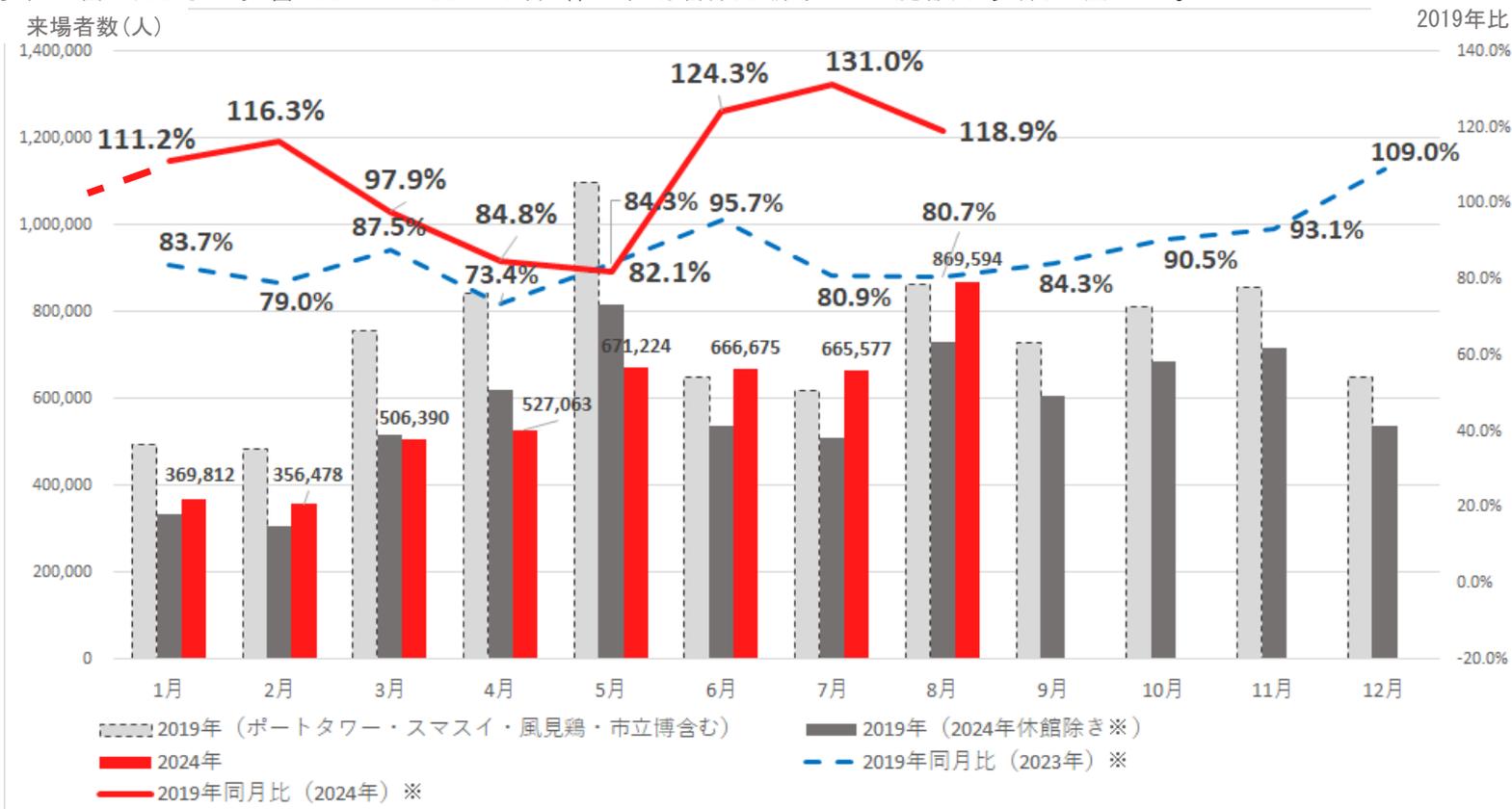
- 〔件数状況〕 ・8月中下旬～9月中旬は平日150件ほど、休日200件ほど。
- 〔客層〕 ・国内、ご年配夫婦・ご年配女性グループ・ファミリー層など。
・インバウンドは、アジア系ファミリー（台湾や中国）やクルーズ船の乗船客（欧米系）など。
- 〔行き先〕 ・国内、市内観光・ハーブ園・布引の滝・どうぶつ王国・淡路島&徳島・中華街など。
・インバウンド、ハーブ園・布引の滝・淡路島・ベイエリア・三田プレミアムアウトレットなど。
- 〔内容〕 ・**レンタカーの問い合わせが多く、車による観光が増えた印象がある。**
・大型クルーズ船の入港により欧米系の来所が増え、神戸ビーフや酒蔵の問い合わせが多かった。

主要市内観光施設来場者数 (2024.8)

神戸



- ・8月は、お盆期間は好調に推移した施設が多数だったが、酷暑の影響で客足が減ったという施設もあった。
- ・月末の台風10号の影響で28日～31日は休館や来場者数が減少した施設が多数を占めた。



※2019年比は、比較時点で改修中の施設除いて比較 (2023年通年：ポートタワー、2023年6月～：スマスイ、2023年10月～：風見鶏の館、神戸市立博物館) (2024年1月～：ポートタワー、スマスイ、風見鶏の館、神戸市立博物館、北野工房のまち、

4月～：スマスイ、風見鶏の館、北野工房のまち、6月～：風見鶏の館、北野工房のまち)

※2019年の来場者数は、2024年時点で改修中の施設を含んだグラフと、含まないグラフ両方を掲載。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1～12月計
2019年 (ポートタワー・スマスイ・風見鶏・市立博含む)	492,867	483,116	757,624	841,024	1,096,996	647,632	618,160	864,393	727,418	811,994	854,900	650,164	8,846,288
2019年 (2024年休館除き※)	332,680	306,441	517,159	621,394	817,589	536,380	507,947	731,188	606,214	685,602	716,483	538,109	6,917,186
2023年	394,207	365,974	636,926	598,010	892,496	516,670	395,040	504,930	500,273	595,734	651,646	580,809	6,632,715
2024年	369,812	356,478	506,390	527,063	671,224	666,675	665,577	869,594					4,632,813
2019年同月比 (2023年) ※	83.7%	79.0%	87.5%	73.4%	84.3%	95.7%	80.9%	80.7%	84.3%	90.5%	93.1%	109.0%	
2019年同月比 (2024年) ※	111.2%	116.3%	97.9%	84.8%	82.1%	124.3%	131.0%	118.9%					

出典：神戸市観光企画課・神戸観光局調査

集計対象施設：全20施設 (ラインの館、神戸ポートタワー、王子動物園、神戸どうぶつ王国、神戸布引ハーブ園、六甲山牧場、金の湯、銀の湯、道の駅フルーツ・フラワーパーク大沢など) 37

神戸市内大型施設の主な催事情報(10月) 9月19日時点

神戸

※1,000名以上収容可能施設から主なイベント情報を抽出
 ※コンサート等については、アーティスト名のみを表記
 ※神戸観光局経営推進部調べ



10月	神戸国際会議場	神戸国際展示場	ワールド記念ホール	こくさいホール
1週目	4~5日 第143回中部日本整形外科・災害外科学会・学術集会			1日 JUJU 18:30~ 2日 JUJU 18:30~
2週目	9~11日 令和6年度日本水道協会全国会議 13日 第34回兵庫県透析合同研究会	9~11日 令和6年度日本水道協会全国会議 2024神戸水道展	12日 HYDE(ハイト) 17:06~ 13日 HYDE(ハイト) 17:06~	9日 NCT YUTA 18:30~ 10日 NCT YUTA 18:30~ 11日 中村勘九郎・七之助錦秋歌舞伎特別公演 ①11:00~ ②15:00~
3週目	16~17日 第62回全国大学保健管理研究集会 17日 国立大学保健管理施設協議会第16回理事会 18日 国立大学保健管理施設協議会総会 19~20日 日本LD学会第33回大会	16~17日 2025春もの日本シューズ産業見本市 2025春日本グランドシューズコレクション&全国サンダルフェア 19~20日 日本LD学会第33回大会 20日 第76回近畿北陸地区歯科医学大会	19日 AIMYON(あいみよん) 18:00~ 20日 AIMYON(あいみよん) 17:00~	14日 おかあさんといっしょ ①13:00~ ②15:30~ 19日 アロージャズオーケストラ 15:00~ 20日 WAHAHA本舗 16:30~
4週目	22~25日 コンピュータセキュリティシンポジウム2024	24~26日 Complex Cardiovascular Therapeutics		23日 舟木一夫 14:00~ 25日 WATWING 17:00~ 26日 THE ALFEE 18:00~
5週目	27~28日 第50回反応と合成の進歩シンポジウム 31~11/3日 第32回日本消化器関連学会週間	27日 マイナビインターンシップキャリア&発見フェア神戸会場 31~11/3日 第32回日本消化器関連学会週間	30日 Number_i ①13:30~ ②18:00~ 31日 Number_i 13:30~	29日 平井大 18:00~ 31日 玉置浩二 18:00~

10月	神戸文化ホール ※一部抜粋	総合運動公園 ※一部抜粋	ノエビアスタジアム神戸 ※一部抜粋
1週目	1日 劇団四季 ジーザスクライスト・スーパースター 18:30~	5日 兵庫陸上競技秋季記録会高校の部/ユニバー記念競技場 6日 神戸市総合スポーツ大会陸上競技/ユニバー記念競技場	2日 ヴィッセル神戸vs山東泰山(中国)/AFC Champions League Elite 19:00~ 5日 ベジタブルでワンダフルラン 6日 INAC神戸レオネッサvs長野野ルセイロ・レディース/WE League 16:00~
2週目	6日 三人称 16:00~ 13日 神戸フィルハーモニック定期演奏会 14:00~	12~13日 兵庫陸上競技秋季記録会/ユニバー記念競技場	12日 ノエスタファミリーフェスティバル
3週目	16日 稲垣潤一 18:30~ 20日 神戸男声合唱団定期演奏会 15:00~	14日 第43回兵庫マスターズ陸上競技大会/ユニバー記念競技場 20日 兵庫県小学生陸上記録大会/ユニバー記念競技場	14日 INAC神戸レオネッサvsノジマステラ神奈川相模原/WE League 16:00~ 18日 ヴィッセル神戸vsFC東京/J1 League 19:00~
4週目		26~28日 兵庫県テニス新人戦/テニス場 26~27日 神戸市小学生陸上記録大会/ユニバー記念競技場	
5週目	27日 学園都市交響楽団定期演奏会 14:00~	27日 第46回マーチングバンド関西大会/グリーンアリーナ神戸 30日 兵庫県警察柔道大会/グリーンアリーナ神戸	

※各催事の集客予定人数・販売状況については、当方および各施設・主催者にお問い合わせいただいても一切お答えできません。

神戸市内大型施設の主な催事情報(11月) 9月19日時点

神戸

※1,000名以上収容可能施設から主なイベント情報を抽出
 ※コンサート等については、アーティスト名のみを表記
 ※神戸観光局経営推進部調べ



11月	神戸国際会議場	神戸国際展示場	ワールド記念ホール	こくさいホール
1週目	10/31~3日 第32回日本消化器関連学会週間	10/31~3日 第32回日本消化器関連学会週間		1日 玉置浩二 18:00~ 2日 Aimer 17:00~
2週目	11/8~9日 第49回日本重症心身障害学会学術集会	7日 食品展示会	3日 新しい学校のリーダーズ 18:00~ 4日 新しい学校のリーダーズ 17:00~ 9日 GENERATIONS 17:00~	3日 Aimer 16:00~ 5日 ソ・イングク 9日 前川清 絃毅 前川侑那 ①13:00~ ②17:00~
3週目	11/14~16日 第94回日本感染症学会西日本地方会学術集会 第72回日本化学療法西日本支部総会 合同学会		10日 GENERATIONS 16:00~ 14日 ゆず 18:30~ 15日 ゆず 18:30~	10日 THE YELLOW MONKEY 17:30~ 15日 ASKA 18:30~ 16日 平原綾香 16:30~
4週目	17日 神戸マラソン2024 18~20日 第2回日本化粧品技術者会学術大会 23~24日 第26回全国シェルターシンポジウム2024inKOBE	17日 神戸マラソン2024 23日第2回匠マイスター技能選手権地区大会	23日 WANIMA 17:00~	19日 山下達郎 18:30~ 20日 徳永英明 16:00~ 21日 徳永英明 15:00~ 23日 葉加瀬太郎 16:00~
5週目	27日 こころのケア国際シンポジウム 29~30日 第5回日本フットケア・足病医学会 年次学術集会	30日 あさがくナビの就職博	24日 WANIMA 16:00~ 29日 2NE1 18:30~ 30日 2NE1 17:00~	24日 渋谷すばる 18:00~

11月	神戸文化ホール ※一部抜粋	総合運動公園 ※一部抜粋	ノエビアスタジアム神戸 ※一部抜粋
1週目	2日 和太鼓 松村組 16:00~	2~3日 全国高校バスケットボール選手権 (ウインターカップ) 兵庫県予選/グリーン アリーナ神戸	1日 ヴィッセル神戸vsジュビロ磐田 /J1 League 19:00~ 2日 INAC神戸レオネッサvs. アルビレックス 新潟レディース 16:00~
2週目	4日 UCHIDA MAAYA(内田真礼) 17:00~ 9日 HY 18:00~	4日 兵庫県高校駅伝代替大会/ユニバー記念 競技場 9日~10日 女子バレーSVリーグSAGA久光vs埼 玉上尾/グリーンアリーナ神戸 14:00~	5日 ヴィッセル神戸vs光州/AFC Champions League Elite 19:00~
3週目	10日 スリーピングビューティー全日本パレエ コンクール 12:00~	10日 兵庫県高校サッカー選手権大会決勝戦 /ユニバー記念競技場 16日 兵庫県高校ラグビーフットボール大会 決勝戦/ユニバー記念競技場 15~17日 全国女子選抜フットサル大会 /グリーンアリーナ神戸	16日 INAC神戸レオネッサvs. 日テレ・東京 ヴェルディベレーザ 16:00~
4週目	17日 Ray フィルハーモニックオーケストラ 13:30~ 23日 神戸市室内管弦楽団 15:00~	17日 関西大学ラグビーAリーグ/ユニバー記念 競技場	
5週目	24日 爆笑 お笑いフェスin神戸 ①11:30~ ②15:00~	30日 神戸市長杯しあわせ健康駅伝大会/ユ ニバー記念競技場 30日 FリーグDiv2/グリーンアリーナ神戸	26日 ヴィッセル神戸vs C C M/AFC Champions League Elite 19:00~

※各催事の集客予定人数・販売状況については、当方および各施設・主催者にお問い合わせいただいても一切お答えできません。

神戸市内大型施設の主な催事情報(12月) 9月19日時点

神戸

※1,000名以上収容可能施設から主なイベント情報を抽出
 ※コンサート等については、アーティスト名のみを表記
 ※神戸観光局経営推進部調べ



12月	ワールド記念ホール	こくさいホール	神戸文化ホール ※一部抜粋
1週目	1日 2NE1 15:00～ 4日 宮本浩次 18:30～ 5日 宮本浩次 18:30～ 7日 JO1 18:00～	1日 島津亜矢 14:00～ 4日 スキマスイッチ 18:30～ 6日 YUKI 19:00～ 7日 YUKI 16:00～	3日 劇団東京ヴォードヴィールショー 19:00～ 4日 劇団東京ヴォードヴィールショー 13:30～ 7日 市民の第九2024 14:30～
2週目	8日 JO1 ①12:30～ ②18:00～ 11日 JO1 18:30～ 12日 JO1 18:30～ 14日 D-LITE 17:00～	8日 FRUITS ZIPPER 18:00～ 14日 ORANGE RANGE 17:30～	8日 綾小路きみまろスーパーライブ 14:00～ 14日 貞松・浜田バレエ団クリスマス公演 「くるみ割り人形」 15:00～ 15日 貞松・浜田バレエ団クリスマス公演 「くるみ割り人形」 15:00～
3週目	15日 D-LITE 16:00～ 21日 NiziU 18:00～	19日 アロージャズオーケストラ withクリス・ハート 18:00～ 21日 吉川晃司 17:00～	21日 ヴェルディ:オペラ「ファルスタッフ」 14:00～
4週目	22日 NiziU 16:00～	22日 第九コンサート 16:00～ 23日 榎原敬之 18:30～ 24日 榎原敬之 18:30～	28日 フェニックスフィルハーモニックオーケストラ 第15回演奏会 14:00～
5週目		29日 初音ミク 18:00～	

12月	総合運動公園 ※一部抜粋	ノエビアスタジアム神戸 ※一部抜粋
1週目	7日 神戸市障害者ふれあいロードレース/ ユニバー記念競技場 7~8日 全日本女子車いすバスケットボール選手権 & 全国シニア選抜 車いすバスケットボール大会/グリーンアリーナ神戸	
2週目	8日 朝日新聞社神戸市少年サッカーBリーグ/ユニバー記念競技場 14~15日 フットサルフェスタ2024/ グリーンアリーナ神戸	8日 ヴィッセル神戸vs湘南ベルマーレ/ J1 League 14:00～
3週目	21日 キッズサッカーフェスティバル/ ユニバー記念競技場	
4週目	22日 朝日新聞社神戸市少年サッカーAリーグ/ユニバー記念競技場 24~28日 全国小学生バドミントン選手権大会/グリーンアリーナ神戸	
5週目		コベルコ神戸スティーラーズvs. 横浜キャノンイーグルス/ラグビーリーグワン

※神戸国際会議場・神戸国際展示場の情報は公開され次第のマンスリーレポートにて掲載いたします。
 ※各催事の集客予定人数・販売状況については、当方および各施設・主催者にお問い合わせいただいても一切お答えできません。

參考資料集

2024年8月訪日外客数の各国・地域別の内訳(対2019年比)

全国 外国人



国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2019年 8月	2024年 8月	伸率(%)	2019年 1月～8月	2024年 1月～8月	伸率(%)
総数	Grand Total	2,520,134	2,933,000	16.4	22,144,937	24,007,900	8.4
韓国	South Korea	308,730	612,100	98.3	4,733,063	5,811,900	22.8
中国	China	1,000,639	745,800	-25.5	6,583,524	4,595,200	-30.2
台湾	Taiwan	420,279	564,300	34.3	3,360,344	4,115,200	22.5
香港	Hong Kong	190,260	246,600	29.6	1,504,959	1,801,800	19.7
タイ	Thailand	49,589	34,700	-30.0	806,386	706,500	-12.4
シンガポール	Singapore	19,698	24,800	25.9	255,497	352,900	38.1
マレーシア	Malaysia	19,827	17,200	-13.2	280,713	278,300	-0.9
インドネシア	Indonesia	16,160	22,100	36.8	257,248	315,500	22.6
フィリピン	Philippines	31,470	39,000	23.9	364,361	496,300	36.2
ベトナム	Vietnam	43,709	52,400	19.9	337,718	434,000	28.5
インド	India	13,308	16,100	21.0	119,470	152,900	28.0
豪州	Australia	26,951	41,000	52.1	388,730	551,600	41.9
米国	U.S.A.	117,828	174,000	47.7	1,149,817	1,768,100	53.8
カナダ	Canada	27,568	46,900	70.1	240,622	367,400	52.7
メキシコ	Mexico	4,800	12,100	152.1	45,085	92,100	104.3
英国	United Kingdom	26,213	29,400	12.2	240,839	280,800	16.6
フランス	France	30,851	31,400	1.8	225,795	253,100	12.1
ドイツ	Germany	17,264	24,100	39.6	154,336	204,400	32.4
イタリア	Italy	22,804	34,700	52.2	111,138	149,200	34.2
スペイン	Spain	20,009	25,900	29.4	87,202	110,500	26.7
ロシア	Russia	8,321	6,900	-17.1	73,266	53,700	-26.7
北欧地域	Nordic Countries	7,050	6,900	-2.1	94,159	96,500	2.5
中東地域	Middle East	6,254	11,400	82.3	59,137	99,400	68.1
その他	Others	90,552	113,200	25.0	671,528	920,600	37.1

※2023年5月の公表から、北欧地域(スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド)の推計値の公表を開始。

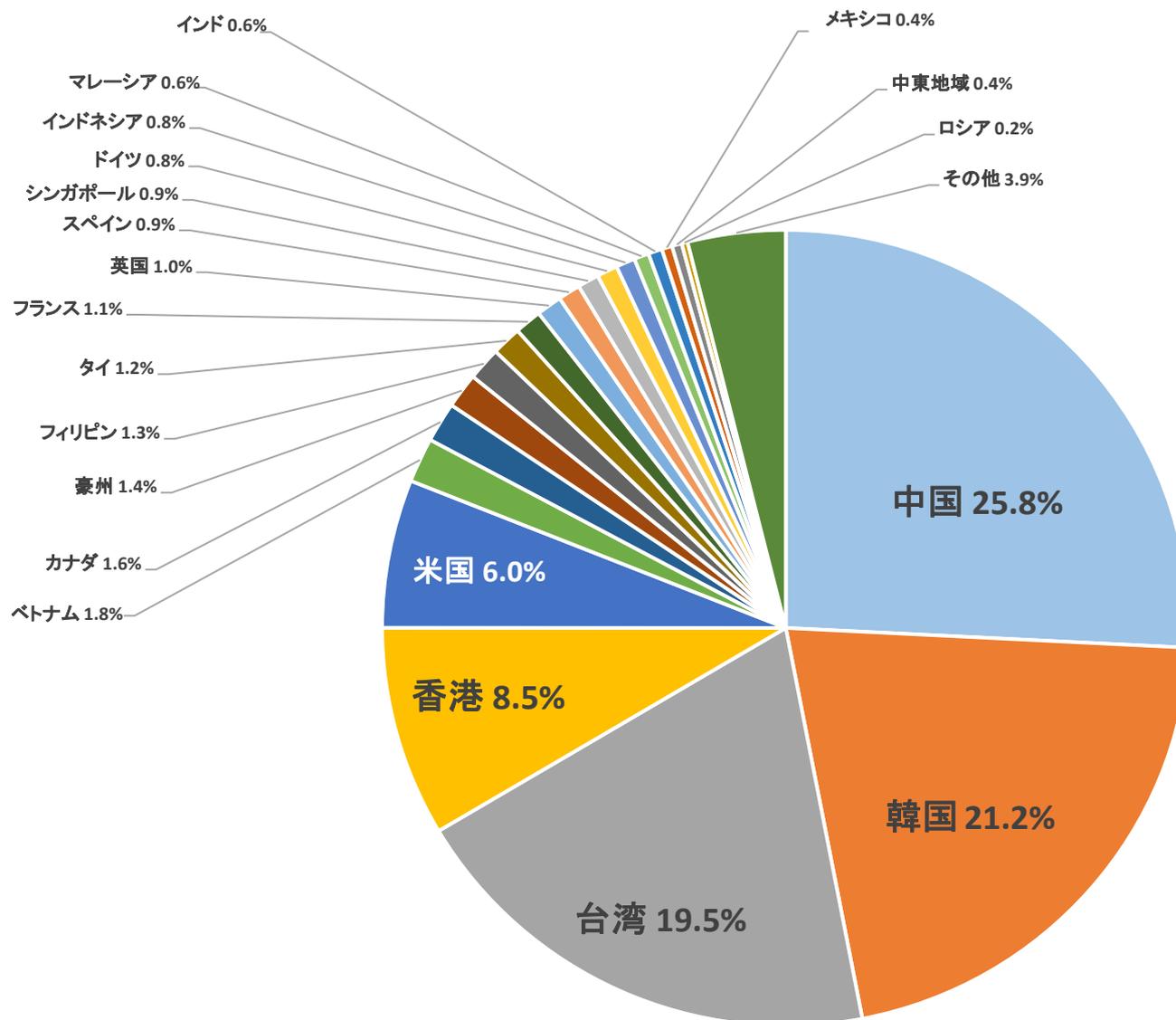
※中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国(サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート)

※赤マーカー・・・当月の過去最高を記録した国・地域

※黄色マーカー・・・単月での過去最高を記録した国・地域

2024年8月訪日外客数の各国・地域別の内訳

全国 外国人



※北欧地域はスウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド

※中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国(サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート)

宿泊タイプ別客室稼働率

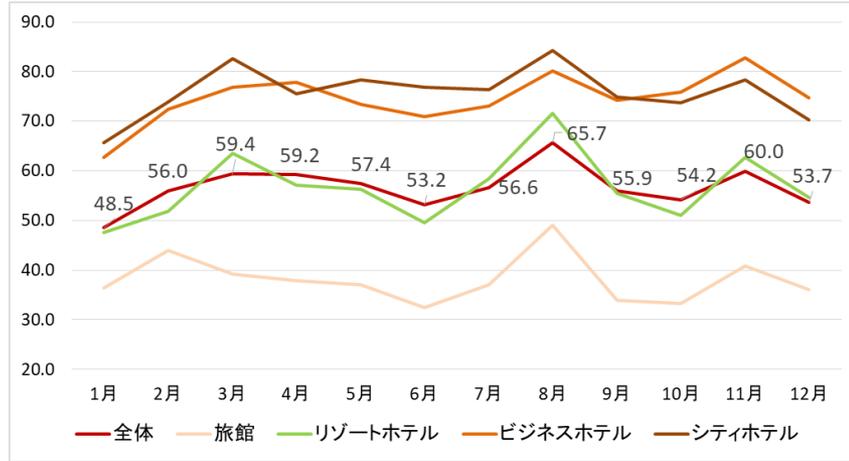
全国 関西



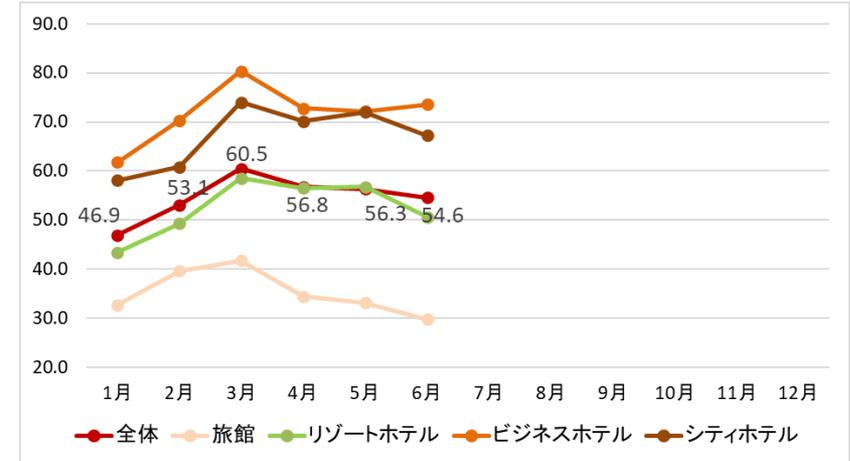
2019年／2024年比較

【兵庫県】

(2019年)

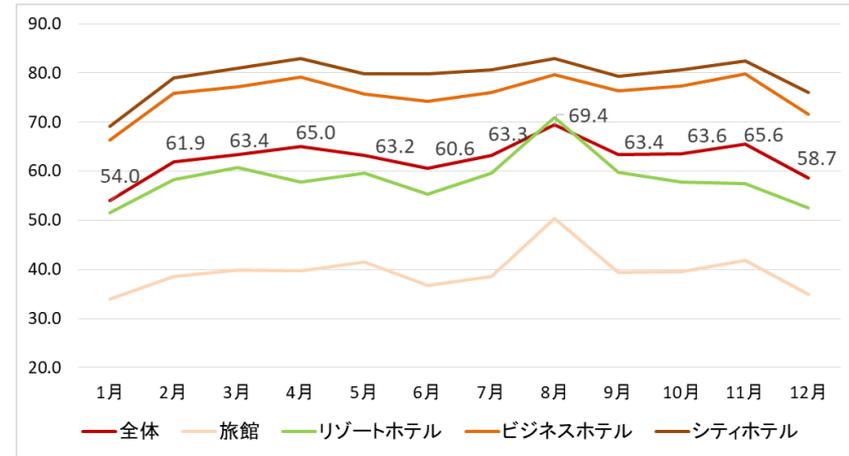


(2024年)

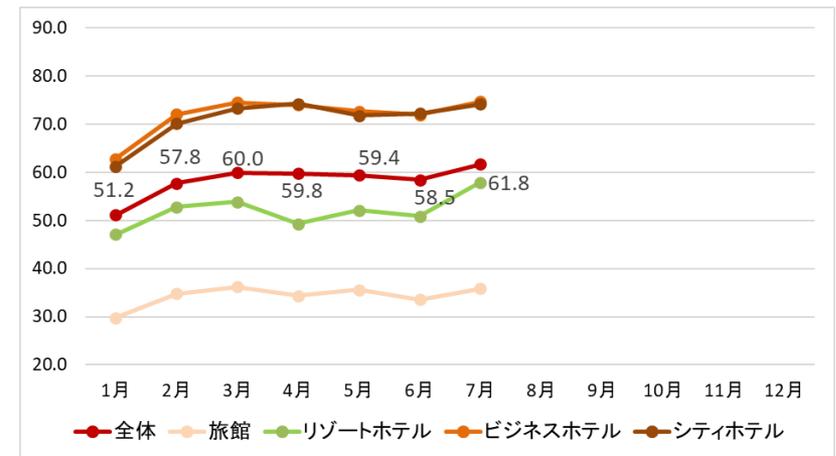


【全国】

(2019年)



(2024年)



世界の運航状況

2023年9月と比較した2024年9月の座席数

地域	前年比
世界	105%
西欧	105%
東欧	115%
北米	102%
中米	98%
南米	111%
東アジア	106%
東南アジア	108%
中東	103%
太平洋（豪州ほか）	100%

出典：OAG FLIGHT DATAより抜粋・算出

<https://www.oag.com/coronavirus-airline-schedules-data?hsLang=en-gb>

- ・ 今月最も成長したのは中国－日本間の路線で、回復が急速に続いており、航空会社は前年比で74.7%も輸送能力を増加させた。
- ・ 日本－韓国間の輸送能力も大幅に増加しており、日本－台湾間も2桁の大幅な増加となっている。

世界の座席利用率(2024年7月)

ポイントは2023年同月差
※PLF

地域	合計	国際線	国	国内線
アジア・太平洋	83.4% 1.6p	83.8% -0.8p	日本	78.3% 3.2p
欧州	88.2% 0.1p	87.5% 0.2p	中国	83.4% 4.3p
北米	88.9% -0.2p	89.4% -0.8p	インド	85.1% 0.9p
中南米	86.2% -0.7p	87.5% -1.7p	米国	88.5% 0.1p
中東	84.0% 0.5p	84.1% 0.3p	豪州	84.0% -1.4p
合計	86.0% 0.5p	85.9% -0.3p	合計	84.5% 3.8p

出典：IATA「Air Passenger Market Analysis」より抜粋

※PLF（passenger load factor, load factor）
客の入り（満席度合い）を示す値

- ・ 7月の業界全体の旅客キロ数（RPK）は前年比108%。
- ・ 国際線旅客数は前年比110%の伸びを示し、業界の従来の伸び率に近づいた。

※RPK（Revenue Passenger-Kilometers）

各有償旅客が搭乗し、飛行した距離の合計。有償旅客数×輸送距離

関西国際空港・神戸空港の利用状況(2023年8月～2024年7月)

9月20日時点

関西



関西国際	8月	9月	10月	11月	12月	2024年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
総旅客数(人)	2,269,046	2,103,864	2,283,045	2,248,330	2,343,066	2,219,780	2,344,914	2,589,988	2,393,050	2,487,602	2,504,330	2,655,741
2019年比(%)	79%	85%	91%	88%	92%	85%	94%	90%	87%	90%	92%	95%
国際線 発着数(回)	9,903	9,918	10,361	10,422	11,168	11,128	10,504	11,787	11,504	11,973	11,684	12,411
2019年比(%)	72%	78%	81%	81%	81%	81%	88%	88%	87%	89%	88%	90%
外国人 旅客数(人)	1,214,915	1,117,245	1,331,393	1,315,362	1,462,590	1,388,558	1,454,941	1,471,730	1,588,937	1,573,975	1,622,905	1,670,731
2019年比(%)	87.8%	96%	101.7%	99.5%	110.4%	97.6%	105.3%	104.8%	101.3%	106%	105.7%	109.0%
国内線 旅客数(人)	619,088	606,585	621,524	560,494	535,880	502,062	536,065	608,344	497,336	540,719	517,545	588,707
2019年比(%)	94%	102%	110%	99%	97%	91%	102%	95%	87%	90%	94%	96%

神戸	8月	9月	10月	11月	12月	2024年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
国内線発着 回数(回)	2,919	2,897	3,090	3,084	2,887	2,743	2,680	2,934	2,768	2,898	2,556	2,621
2019年比(%)	107%	104%	111%	109%	94%	98%	122%	118%	112%	110%	106%	102%
国内線 旅客数(人)	313,651	296,352	312,315	289,069	270,485	260,577	276,459	304,933	270,560	301,220	294,832	308,563
2019年比(%)	95%	98%	106%	97%	95%	93%	112%	106%	107%	109%	112%	110%

※国内線旅客数は発着者数計、国際線旅客数は出入国者数計となります。

出典: 関西エアポートニュースリリースより作成

神戸空港就航都市路線別旅客数・利用率(2023年8月～2024年7月)

9月20日時点

神戸



路線	内容	23年8月	9月	10月	11月	12月	24年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
新千歳	旅客数(人)	55,414	53,866	50,225	43,196	42,492	46,235	52,002	53,622	40,345	51,845	58,105	61,055
	利用率(%)	91.3	88.4	79.2	70.4	66.3	73.5	88.5	84.9	56.0	71.0	84.4	82.7
青森	旅客数(人)	4,113	3,357	3,669	2,815	831	899	1,455	2,192	2,133	2,706	2,604	3,140
	利用率(%)	81.7	66.6	70.4	57.3	61.8	67.3	62.3	42.8	42.3	52.8	51.7	60.3
花巻	旅客数(人)	4,168	3,508	3,508	2,998	1,206	1,097	1,165	2,586	1,282	2,026	2,235	2,595
	利用率(%)	82.7	69.7	67.4	59.5	65.5	82.1	49.5	51.4	25.6	41.6	44.3	50.5
仙台	旅客数(人)	18,479	18,116	19,023	18,105	15,938	13,858	14,970	17,583	14,305	15,943	15,138	15,967
	利用率(%)	88.5	85.3	86.7	85.2	72.6	63.1	72.9	80.1	67.3	73.8	71.3	72.7
新潟	旅客数(人)	1,305	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	利用率(%)	77.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城	旅客数(人)	27,430	23,125	25,985	25,650	22,447	20,017	19,725	25,375	22,311	23,861	22,643	23,324
	利用率(%)	86.1	72.6	78.9	80.5	68.2	61.1	64.8	77.1	70.0	73.7	71.1	70.8
羽田	旅客数(人)	75,956	74,804	78,029	75,378	76,490	68,498	69,536	76,756	75,243	80,574	77,580	79,206
	利用率(%)	88.0	86.0	86.1	87.0	84.6	78.5	86.1	88.1	79.4	84.2	84.4	81.8
松本	旅客数(人)	7,906	7,766	8,125	7,173	5,498	5,280	5,100	6,308	4,385	5,407	5,788	6,556
	利用率(%)	78.5	77.2	78.0	73.3	54.6	53.0	55.2	62.6	43.8	54.9	58.9	64.3
高知	旅客数(人)	3,149	2,666	2,638	2,458	2,239	1,988	1,353	1,613	260	485	-	-
	利用率(%)	63.5	52.9	50.7	48.8	43.1	38.3	28.7	32.6	38.7	48.1	-	-
長崎	旅客数(人)	24,780	25,593	26,987	25,011	22,927	21,952	23,562	26,906	24,502	26,369	22,764	24,133
	利用率(%)	81.9	80.3	83.3	78.5	69.6	69.6	76.5	81.7	76.9	81.4	72.7	73.3
鹿児島	旅客数(人)	16,500	17,183	18,301	17,471	16,278	16,543	16,758	17,119	15,764	18,153	16,233	16,183
	利用率(%)	83.2	80.9	83.4	82.9	74.2	75.4	81.6	78.6	74.8	84.8	76.4	73.7
那覇	旅客数(人)	59,058	52,309	60,584	55,432	51,647	51,006	57,917	61,811	56,997	59,576	56,992	62,048
	利用率(%)	83.5	70.9	79.4	75.1	67.7	67.2	81.2	81.0	76.3	77.2	75.8	79.3
下地島	旅客数(人)	7,796	8,487	9,318	8,224	7,095	7,019	7,510	8,203	8,203	8,892	9,247	8,493
	利用率(%)	84.7	82.7	84.9	77.4	64.7	64.0	73.2	74.7	79.9	82.4	87.1	80.0
合計	旅客数(人)	306,054	290,780	306,392	283,911	265,088	254,392	271,053	300,074	265,730	295,837	289,329	302,700
	利用率(%)	74.5	85.8	80.0	81.4	78.1	71.6	69.8	79.2	80.6	70.2	76.8	77.7